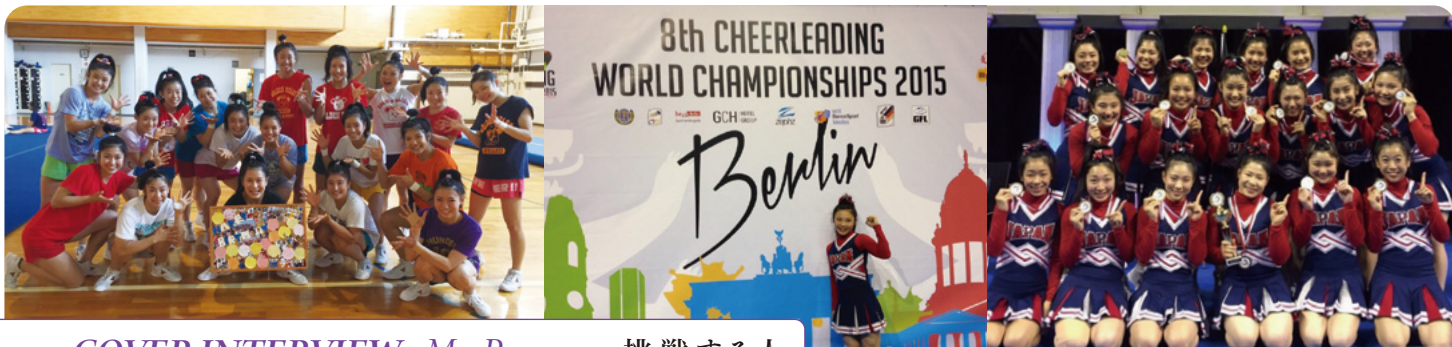




COVER INTERVIEW *My Purpose* 挑戦する人

第8回チアリーディング世界選手権大会 女子部門日本代表チームで世界一を獲得

第8回チアリーディング世界選手権大会は、昨年11月21日、22日にドイツのベルリンで開催された。田中美結さんはこの大会にチアリーディング女子部門日本代表チームの一員として出場し、2位以下に圧倒的な差をつけて世界一の栄冠を手にした。

「集中強化練習は東京で行われたので、移動や宿泊の段取りが大変でした。平日は大学での講義を終えた後、新幹線に飛び乗り、午後9時まで練習。帰りは夜行バスでとんぼ返りしていました。夏休みの間はウィークリーマンションも利用しましたが、その後は先輩の家などに泊めてもらっていました」。何よりも重圧になったのが、チームに溶け込み、新たな技を身につけ、最終的に16人の出場枠内に入れるかということであった。実は、練習に参加していた全メンバー18人中14人が帝京大学の学生で占められていたため、すでに揺るぎないチームワークが出来上がっており、各自の技量なども際立っていたからである。その理論的な指導方法も初めての経験であり、当初はかなり戸惑ったと振り返る。

このような条件下で、彼女は持ち前のポジティブな姿勢を貫き、強烈なプレッシャーをパワーに変え、メンバーの一員として大会に挑む。田中さんのポジションは他の選手たちを土台となって支えるベースである。「本番で最大限に実力を発揮する。それだけを胸に、2分30秒のパフォーマンスに集中しました。世界一になった時は言葉にできないほどの達成感で胸が熱くなり、私を支えてくれた人たちへの感謝の気持ちがこみ上げてきました」チアリーディングに出会ったのは小学

4年生の時だった。地域運動会にゲスト出演したチアリーダーたちに魅了され、その場で連絡先を聞き、すぐにそのクラブチーム SHINIES に所属。中学3年生まで練習に打ち込み、コーチの導きを得て、箕面自由学園高校に進学する。箕面自由学園高校は JAPAN CUP (日本選手権大会) で9年連続優勝などの実績を誇る屈指の名門である。ジャンプとタンプリングを得意技とする田中さんは、高校で、瞬間に頭角を現し、全日本高等学校選手権大会3年連続優勝、JAPAN CUPでも2・3年生時の優勝に大きく貢献。チームの副キャプテンも務めた。「年間でオフが10日間もないような猛練習の日々でした。その中で学んだのは、本音で率直に意見を交わすことによって得られる深い信頼感、互いに競い高め合いながら全員で優勝を目指すことの素晴らしさです」

現在、田中さんが在籍する同志社大学応援団チアリーダー部 CHEERING ANGELS が創部されたのは1978年。部員数27人で、体育会各部の応援、競技活動、ステージやイベントなどを彩る活動を行っている。「幅広い活動ができるのが魅力です。応援では指導部、吹奏楽部と3部で活動することが多く、より大きな感動を体感でき、様々な学生と交流することができます」。スポーツ健康科学部に進学したのは、これまで感覚的に捉えていたことを論理的に探究したかったからだと語る。将来の進路は模索中だが、すでに取得しているチアリーディングのコーチの資格をクラブチームで生かすのも選択肢の一つだという。



田中 美結さん
[スポーツ健康科学部 2年次生]

One Purpose

〈ワンパーパス〉同志社大学通信 188号

2016年10月1日(4・6・10・12月号4回)発行 〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入

TEL 075-251-3120 FAX 075-251-3080
E-mail j-kcho@mail.doshisha.ac.jp



One Purpose

FOR BETTER COMMUNICATION

同志社大学通信
DOSHISHA UNIVERSITY

188

2016 October

特集

学生の「学びと成長」を
多角的に支援する

公益財団法人
大学コンソーシアム京都

同志社人訪問

国際交流基金日米センター所長
茶野 純一さんに聞く

COVER INTERVIEW
My Purpose 挑戦する人



2 特集 公益財団法人 大学コンソーシアム京都

3 特集インタビュー

公益財団法人大学コンソーシアム京都
専務理事・事務局長 桂 良彦さん

5 京都学生祭典 × 京都国際学生映画祭 学生座談会



7 Seminar ～ゼミ探訪 学びの時間～

グローバル・コミュニケーション学部 吉田 優子ゼミ



9 同志社の研究は今

ナノ・バイオサイエンス研究センター
センター長 小寺 政人 (理工学部機能分子・生命化学科教授)

11 2015年度 大学決算について

13 CAMPUS NEWS

「ガールズリーダー交流会」を開催／同志社大学とデルタ航空 調印式／キャンパスを仮想体験!?／
2016 年度春学期外国語honors認定書授与式／2016 年度プロジェクト科目春学期成果報告会／
リオデジャネイロオリンピック・パラリンピック／新任教員紹介／2016 年度卒業式・学位授与式 2017
年度入学式／本学教員の執筆図書紹介

17 同志社校友会

19 留学生紹介

サラ シオリ マホニーさん
(日本語・日本文化教育センター)



20 INTERVIEW ～同志社人訪問～

国際交流基金日米センター所長 茶野 純一さんに聞く



23 My Job, My Life ～私と「仕事」～

小島 圭司さん (2006 年 経済学部卒業)
山田 麻莉子さん (2011 年 法学部政治学科卒業)

25 ANNOUNCEMENT

27 COVER INTERVIEW My Purpose ～挑戦する人～

田中 美結さん (スポーツ健康科学部 2 年次生)



ご意見・情報を募集

「One Purpose」は在学生・卒業生の皆さんとのコミュニケーションを図ることを目的として発行しています。
どうぞお気軽にご意見・情報を広報課までお寄せください。

Feature article

特集

学生の「学びと成長」を多角的に支援する

公益財団法人 大学コンソーシアム京都

他大学の特色ある科目を受講できる「単位互換」制度、
実践を通じて「働く」を考え、社会人としての基礎力を養うインターンシップ、
参加学生が主体的に企画・運営を担う京都学生祭典、京都国際学生映画祭…。
本号では約 50 の大学・短期大学が加盟する大学コンソーシアム京都の
多彩な事業展開の中から
特に同志社大学の多くの学生が積極的に参画し、
将来に役立つ貴重な経験をしている事業について紹介します。



The Consortium of Universities in Kyoto

特集 インタビュー

新たな経験、幅広い交流で、自らを高めてほしい



公益財団法人大学コンソーシアム京都
専務理事・事務局長（本学より出向）

桂 良彦さん

全国最大の規模を誇る コンソーシアム組織

——大学コンソーシアム京都の沿革
を教えてください。

1980年代後半に京都市外への大学
転出の動きが相次いで起こりました。
これに対して大学振興を市政の重要な
柱と位置づけていた京都市は、1993
年に「大学のまち・京都21プラン」を
策定します。「大学間および地域と大
学の協力」をコンセプトに据えたもの
で、大学連合都市の構築、大学共同利
用施設の建設、シンクタンクの設置な
どが事業構想され、翌年の1994年に
全国初の大学連携組織「京都・大学
センター」が発足しました。その後、



「京都世界遺産PBL科目」での学び

1998年に「財団法人大学コンソーシ
アム京都」に名称を変更(2010年に公
益財団法人に移行)。2000年には大学
共同利用施設の拠点となる「キャンパ
スプラザ京都」が京都駅前に竣工しま
した。現在、約50の大学・短期大学お
よび地方自治体、経済団体も参画する
全国最大規模のコンソーシアム組織で
す。ちなみに、私は本年4月より同志
社大学から本財団に出向しています。

他大学の科目を学べる単位互換 社会を知るキャリア教育

——単位互換事業、インターンシッ
プ事業の概要を知りたいのですが。

いずれも基幹事業です。単位互換制
度は、単位互換包括協定に加盟してい
る大学・短期大学(以下、大学)に所属
する学生が他の加盟大学が提供する正
規科目を履修し、その単位が自大学の
単位として認定される制度です。設立
当初の1994年度から取り組んでいま

す。2016年度前期時点での出願者は
3,106人、提供科目数は457科目に及
んでいます。近年、「量から質」への転
換を図っており、昨年度から特色ある
科目として世界遺産を学びのフィール
ドにした「京都世界遺産PBL科目(7
科目)」を開講し、注目されています。
PBL(Project Based Learning)とは課
題発見・解決型の能動的学習のことで
す。他大学の学生と協力しながら、世
界遺産を管理する関係者との対話を通
じて課題解決に取り組むというコン
ソーシアム(単位互換制度)ならではの
科目です。

インターンシップ事業は全国に先駆
けて1998年度より実施しています。
就職活動としてのインターンシップで
はなく、大学における学びの一環と位
置づけており、「学習意欲の喚起」、「高
い職業意識の育成」、「自主性・独創性
のある人材育成」を目的とした教育プ
ログラム(コオプ教育)であることが
特徴です。実践を通じて「働く」を
熟考し、社会人としての基礎力を養う
ことのできるキャリア教育として受講
生からも高く評価されています。

インターンシップ・プログラムには
二つのコースがあります。企業・行政
機関・非営利団体(NPO・NGO等)に
おいて10日間から1カ月程度の実習
を行う短期実践型の「ビジネス・パ
ブリックコース」と、企業・行政機関・

The Consortium of Universities in Kyoto



実践から「働く」を考えるキャリア教育

非営利団体(NPO・NGO等)が提示し
たテーマを約5カ月間で実現するプロ
ジェクト型の「プログレスコース」です。
最近のアンケート結果では受講生のプ
ログラム満足度は94.7%、受け入れ先
も85～95%が「成長があった」と回答
されています。今後、さらにプログラ
ムの質を高め、その特色を明確化し、
修了生によるサポート制度も充実した
いと考えています。また、昨年度から
留学生の就職における選択肢の拡大を
図り、留学生が地域の文化や産業をよ
り深く学ぶことを通じて、京都での就
職・定着を促進するために留学生就職
支援・交流コミュニティ「京トモローア
カデミー (KyoTomorrow Academy)」
を運営。留学生の受け入れ環境を整備
するために、本年度から「留学生向け有
給インターンシップ」も開始しました。

14万人が集う学生の大祭典 国内外に発信する映画祭

——開催間近の京都学生祭典、京都
国際学生映画祭も大きな事業ですね。

これらは学生交流事業として長い歴
史を誇っています。平安神宮前・岡崎
プロムナード一帯をステージに繰り広
げられる京都学生祭典は2003年度に
初回が開催され、今年第14回を迎え
ます。京都経済同友会の21世紀の京
都を考える特別プロジェクト「21世



の学生部門が前身です。国内外から広
く映画・映像作品(実写とアニメ)を
コンペ形式で募集し、選出した数多く
の作品を上映しています。第5回開催
から大学コンソーシアム京都が単独で
主催し、学生の実行委員会が運営する
日本最大規模の国際学生映画祭として
注目度も年々高まり、今年で第19回
を迎えます。日本映画発祥の地とされ
る京都からの情報発信を起点に、若手
映画作家の発掘、映画を通じた人材育
成、国際交流などを推進しています。

大学コンソーシアム京都では各事業
を学生自身が主体的につくり上げてい
く学生の成長プログラムにとらえ、多
角的な視点からサポートを行っていま
す。例えば、京都学生祭典では学生の活
動を一つのプロジェクトに見立て、チー
ムで目標に挑み、確かな成果を出すこ
とに重点を置いたPDCAサイクルの手
法を取り入れています。PLAN(計画)・
DO(実行)・CHECK(確認)・ACTION(行
動)という各手順で活動の円滑な遂行
と業務の改善を図り、事業に参画する
学生の成長を促し、実績を積み重ねて
います。これに加えて「ビジネスマナー」、
「会議の進め方」、「リーダーシップ論」
などの実践的な研修も行っています。
各事業における貴重な経験やインター
カレッジでの多彩な交流は、参加学生
に大きな結実をもたらしています。



キャンパスプラザ京都内のオフィスにて

特集 京都学生祭典 × 京都国際学生映画祭 学生座談会

リーダーシップの根幹を学び、心をつなぐ大切さを知る



第14回
京都学生祭典
実行委員長

北川 拓海さん
〔文学部文化史学科3年次生〕



第14回
京都学生祭典
副実行委員長

青木 亮磨さん
〔文学部文化史学科3年次生〕



第19回
京都国際学生
映画祭
副実行委員長

佐渡 春香さん
〔法学部政治学科3年次生〕

心から打ち込める活動の場が見つかった

——今年のテーマや取り組みなどを教えてください。

北川 第14回京都学生祭典のテーマは「学生による京都四大祭りへの挑戦」です。今年の活動目標として「学生が輝く場の創出」と「連携先数の増加」を掲げ、これを起点にテーマを決定しました。「学生のまち・京都」を背景に誕生した京都学生祭典が京都三大祭りに次ぐ新たな祭典になることを願い、全力で挑戦しています。本祭は10月9日(日)の午前11時から平安神宮前・岡崎プロムナード一帯をステージに開催します。開演を飾るのは1,000人以上が参加する「京炎そでふれ! スペシャルバージョン」です。このオープニングを皮切りに午後7時まで多彩なイベントプログラムを予定しています。約16万人(昨年約14万人)の来場客を目指しています。

青木 本祭に先立ち京都の各地域との連携をさらに深めるために「地域活性プロジェクト」も展開し、大規模なイベントとして大きな成果をあげました。「京都学生祭典プレイベントin伏見」と「京都学生祭典プレイベントin出町柳」です。これらと併せて「地域の祭りへの参画」、「夜間パトロール」、「クリーンアップ(地域清掃)」も行っています。さらに、東日本大震災で被災された方々に元気をお届

けし、京都での防災意識の強化を図る「東北プロジェクト」を実施し、留学生を対象にした「国際交流企画」にも取り組んでいます。

佐渡 第19回京都国際学生映画祭のテーマは「つなげる映画祭」です。映像作家、映画関係者、海外からの招待客、地元地域の方々など本映画祭に集う人々の絆をさらに深めていきたいと考えています。今年作品受付総数は539作品(国内167作品・海外372作品)、参加国数は41カ国です。作品受付総数は昨年の217本から約2.5倍と飛躍的に伸びています。特に海外からの作品受付総数が非常に増えています(昨年94作品)。これに伴い参加国数も昨年の2倍を超えています。また、昨年度から受賞者に贈るトロフィーの制作を立体造形に携わる学生に依頼し、MCも大学生を対象に公募しています。本祭は11月26日(土)～12月2日(金)まで京都シネマ(COCON烏丸3階)で実施予定です。

——各事業に参画したきっかけを教えてください。

北川 1年次生の時にアルバイト先で知り合った他大学の先輩が京都学生祭典に参加していて、その魅力を教えてもらったのが本祭典に関心を抱くきっかけになりました。当時、自身の成長に役立ち、多くの学生と出会える活動の場を探していたので、「これは自分にぴったりの正

課外活動では…」と感じました。早速、実行委員募集の説明会に参加し、即決しました。先輩が当時の実行委員長の友人であったことにも、めぐり合わせのようなものを感じました。

青木 入学時の交流パーティで北川さんに出会い、意気投合したのが本祭典に参画する契機になりました。彼に誘われて実行委員募集の説明会に同行し、すぐに決めました。その時点では北川さんが実行委員長になり、私が副実行委員長を務めることになるとは全く想像していませんでしたが…(笑)。

佐渡 私は高校時代から映画が大好きでした。世界各国の映画に新風を吹き込んだフランスのヌーヴェルヴァーグの名作から最新の大作映画まで幅広く鑑賞しています。京都国際学生映画祭の実行委員会に参加したのは2年次生の時です。世界中の映像作家の作品を同世代の視点で選考し、上映するという本映画祭のコンセプトが私の志向に合致したのです。この映画祭を知った時は、まさに「ビビッ」と来た感じでした。

本気を引き出す努力が自身の成長にも大きく役立つ

——それぞれが実感している各事業の魅力は何ですか。

北川 様々な大学から数多くの学生が主体的に集まり、互いに全力を出し合っ

The Consortium of Universities in Kyoto



最高の結果を目指す。その背景には活動を全面的に支援していただいている大学、行政、経済界、地域が一体となったバックアップ体制があります。このような学生の情熱、「オール京都」の熱意、多彩で貴重な出会いが本祭典の魅力です。「学生のまち・京都」ならではの一大イベントだと実感しています。

青木 学生が主体となって企画・実施するイベントは多数ありますが、これほど大規模なものは他にないと思います。この壮大さに大きな魅力を感じています。北川さんと同様に、実行委員約260人の学生が一つの目標に挑み続けるプロセスも非常に価値があると感じています。参画した一人ひとりが大きな学びを得られる事業です。各方面からの多大なご支援にも心から感謝しています。

佐渡 映画祭を通じて感じるのは世界中の若者たちが根底で感受していることは同じだということ。しかし、それぞれの異なる文化的土壌や生活環境を背景に提示されるテーマや発信されるメッセージは驚くほど多様で、深遠です。異国で生活する彼らに思いをはせ、追体験を可能にしてくれる映画の力を改めて実感しています。また世界各国の次代を担う映像作家との交流を深めることによって自分の現在の立ち位置を客観的に見つめることができるのも本映画祭の魅力です。

——組織を牽引する立場になった時の意気込み、現在の思いを教えてください。

佐渡 昨年は一委員として参画していましたが、今年は副実行委員長として組織を上手にマネジメントし、実行委員相互の架け橋になりたいと思っています。コ

ミュニケーションは得意な方なので、各実行委員との対話を深め、その思いを的確に把握し、それぞれが理念と意思を明確に持って積極的に活動できる環境づくりに励んでいます。また、長期的な視点に立った体制の構築も重要です。新たな才能を見いだすためには、発掘する側もそれにふさわしい熱量を持った人材が必要です。世界を対象とする本映画祭を成功させるためには、国内外の枠を超えた受信力のあるアンテナを張り巡らし、果敢に行動を起こせるパワーも養成しなければなりません。今年は日本以外の国籍を持つ実行委員も加入していますが、この構成比率もさらに拡大すべきです。英語力など語学面の強化も急務だと感じています。

北川 実行委員長になった時、最初にしたのは大役を務めさせていただくことの感激とやりがい、それに伴う責任の重圧感でした。全ての実行委員に対して願っていることは「本気で打ち込めることを見いだしてほしい」の一言です。一人ひとりの「こうしたい!」という熱い思いが大きな息吹となって本祭典を盛り上げ、成功に導くのです。その環境づくりに、日々全力を傾注しています。

青木 3年間の経験に基づく確かなアドバイスと適切なサポートを徹底し、誰もが熱中できる場を構築したい。それが全ての実行委員の活動の後押しになり、実行委員長を補佐することになると考えています。難しいのは企画・運営に関する様々な判断です。何が正しかったかは、本祭典が終了した後でなければわからない。時間の許す限り、討議して決断するようにしています。

——これまでの多彩な活動を通じて得た学びを聞かせてください。

北川 日々、新たな学びがあり、これからは多くの気づきがあるだろうと思いますが、現時点で言えることは、どれだけみんなを本気にさせ、それぞれのパワーを引き出せるか。一人で行えることは限られていますが、多くの人々の力を結集すれば、大きなことを成し遂げることができるということです。それがリーダーシップの要であり、実行委員長の最も重要な仕事だということがわかりました。これが私の貴重な学びです。

青木 誰もが頑張っています。その努力を見だし、励まして、それを全員に具体的に伝える。この相互の気づきが相乗効果を生み出し、全体の活性化につながります。これが約260人を見守る副実行委員長を務めるようになって実感したことです。

佐渡 映画や音楽、文学などのコンテンツを通じた文化交流や広報活動に興味があり、これらによって外国の国民や世論に働きかけるパブリックディプロマシー(広報文化外交)などにも強い関心を抱いています。優れた才能を見だし、結びつける役割を担う本映画祭の企画・運営に携わることで、その観点からも大きな学びを得ています。



第14回 京都学生祭典

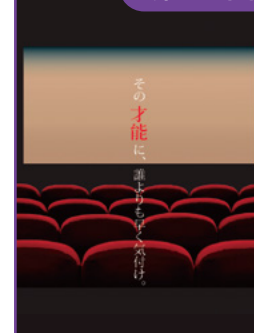


日時：2016年10月9日(日)
11:00～19:00(予定)
場所：平安神宮前・岡崎プロムナード一帯

【イベントプログラム】

①Opening	11:00～11:40	神宮道
②岡崎公園企画	11:00～19:00	岡崎公園
③岡崎グラウンド企画	11:40～17:00	岡崎グラウンド
④ステージ企画	11:40～17:00	神宮道北側・南側・二条通り、ロームスクエア
⑤Grand Finale	17:00～19:00	神宮道北側

第19回 京都国際学生映画祭



日時：2016年11月26日(土)～12月2日(金)
16:45～21:00(予定・終了時間は各日異なる)
場所：京都シネマ(四条烏丸下る西側・COCON烏丸3階)
料金：1プログラム券(前売・当日)500円
フリーパス券(前売)1,000円(当日)1,500円

【イベントプログラム】

11月26日(土)～12月1日(木) 入選作品の上映と特別企画プログラムを開催
12月2日(金) 授賞式・グランプリ作品の上映



Seminar

ゼミ探訪学びの時間

グローバル・コミュニケーション学部
吉田 優子ゼミ
【グローバル・コミュニケーション学部教授】

何よりも重視しているのが 独自の視点と的確な分析に基づく 論理的な思考能力の鍛錬

英語と日本語を中心に 言語の普遍性・多様性と 社会との関わりを探究する

吉 田優子教授の主な専門分野は「理論言語学－音韻論」。音の体系・構造の規則性などを見極め、言語音の普遍性と多様性の研究をしている。大学の英文学科で学んでいた時、習得した外国語が例外なく本人の母語のアクセントになることに興味を持った。「例えば、日本人の学生に英文を読ませると、その出身地の方言の影響が顕著に生じます。関西弁、東北弁のイントネーションといった具合です。文法などは学習すれば、比較的母語に近い形で使えますが、一般的に発音の習得は困難です。様々な言語のいろいろな言語音に興味を持ち、音節や韻脚など、理論上の概念の心的内在性に強く興味を持ちました」。また、当時所属していたシェイクスピア研究のゼミでは、時の流れとともに言語が大きく変わっていくことを実感し、母音体系の変化にも着目。その後、ロンドン大学で約8年間、院生として、さらには教鞭を執る中で耳にした英語のバラエティと社会の深い関係に関心を持った

ことも、今日の研究につながっている。「イギリスのバラエティはピラミッドを構築しています。王室を頂点にして社会の各階層の構成を縦軸に、横軸には地域差が現され、労働階級においては大きな地域差、すなわち発音の驚くほどの多様性が見られます」

吉田ゼミの主軸となるテーマは「言語の普遍性」と「アクセントと社会の関係」。音声記号などの基礎知識を学んだ後、英語と日本語を中心に言語の特徴を考察していく。吉田ゼミは英語によるコミュニケーションが鉄則であり、日々の学びは卓越した英語力の練磨にも大きく役立っている。「何よりも重視しているのが論理的な思考能力の養成です。これには英語を使う方がより効果的です。ゼミでは学生が対応できるレベルの課題を提示し、各自が自分なりの結論に至るまで主体的に考究させます。これを繰り返すことによって発想力、推理力、調査力に裏付けられた論理的思考力が確実に培われていきます」。この能力を徹底的に鍛え上げることができれば、将来、どのような分野に挑んでも、目の前の課題を確実にクリアでき、成果をあげることのできる人材になると、吉田教授は確信を持って語る。

プレゼンテーションによって 卒業研究の考察を深める



当 日の吉田ゼミは4年次生の菅勇輝さんのプレゼンテーションで始まった。ゼミ生たちが見つめる画面の中央に「？」が大きく映し出され、これに重ねて「27」という数字が提示される。ここで菅さんが全員に「これは何を意味する数字か」と流暢な英語で問いかける。答えはアジア30カ国中における日本の英語力の順位である。このようなプロローグからアジア各国の英語の特徴、多様性、教育制度、現状での課題や今後の展望などを考察していく。関心を巧みに呼び寄せる実に手際の良いプレゼンテーションである。「1年次生の時から効果的なプレゼンテーションの手法を学ばせています。1年間の留学中に外国人の学生と討議することによって、さらに上達します。

現在、4年次のゼミ生は卒業研究のテーマが確定しており、これを詰めている段階です。その概要を各自が全員の前で発表し、質疑応答を繰り返すことによって論考が深まっています」

続けて吉田教授が学生の前に立ち、映像を用いながらゼミ生に語りかける。映し出されたのは大阪府を中心にした関西弁の詳細な区分地図である。大阪府出身者が8人いることから、府内のバラエティを検討するため、学生自身の出身地と動詞の活用形、例えば共通語の「行かない」に当たる「行けへん」「行かへん」「行きやへん」などの調査を教室で行い、分布をマップに表したものである。最初は同じ大阪方言で何も違わないと言い張っていた学生たちには目から鱗の体験となった。身近な方言の例から気づきが得られ、これがゼミ生に不可欠な分析力の養成に役立つのだという。さらにある発話を関西方言の例として表示。発言している人物の年齢などを推理させる。「これは関西の年輩女性のスピーチで、ゼミ生にも推定できます。先週までニューヨークにおけるアクセントと社会の関係について学術論文を基に検討していたのですが、これを活かしたかたちで、今度は主体的に思考させ、そこから専門的な探究を行っていきます。地理的・社会的な要因もありますが、年齢層による違い、つまり時が経つことによって言語が変

化することも非常に重要な素因です」

言語音の理解が対話力を高め 卓越した国際人を育む

吉 田ゼミに所属しているのは3年次生11人と4年次生11人。取材時のゼミは4年次生が対象で、今年は女性が多数を占めているが、男女の比率は毎年異なる。中国・南京市出身の盛詩琚さんは大阪女学院高校を経て本学に入学した。留学先には以前から憧れていたイギリスを選び、サセックス大学で学んだ。その時、各地の方言の違いを実感し、これを探究するために吉田ゼミを選んだという。「例えば、ロンドンの労働者階級で話されるコックニーの発音を研究することによって、イギリスの階級制度を深く知ることができます。このようなアクセントと社会の関係についての視点や考察が真の英語力やコミュニケーション能力を高めるのに不可欠だということを学びました」。卒業研究では中国語のトーンアクセントをテーマに取り上げ、日本語のピッチアクセントとの比較なども交えながら考察する予定である。吉田教授については「私が理想とする『強く優しい女性』です。就職活動で『どんな人になりたいですか』と聞かれた時も、先生のお名前を挙げました」という言葉が返ってきた。

小澤かおりさんはニュージーランドの首都ウェリントンにあるビクトリア大学に



留学後、本ゼミを受講した。「発音の違いなどについて深く学びたかったのでこのゼミを選択しました。また、先生としても、人間的にも、吉田先生が魅力的だったことも理由です。以前から関心のあった関西の方言についての知識が増え、英語の発音についても具体的な口の動かし方から習得でき、非常に役立っています」。卒業研究のテーマは出身地の岐阜県と関西の方言のアクセントやイントネーションの比較論を想定している。

上田実佳さんはカナダのゲルフ大学留学時に、英語母語話者とそれ以外の人々はもとより、英語母語話者の中でも発音やアクセントなどに違いがあることに気づく。国籍や出身地を超えて誰とでも円滑な意思疎通ができるようになるためには、それぞれの差異を的確に学ばなければならないと考え、吉田ゼミを選んだ。「音韻論は想像していた以上に専門的な分野ですが、吉田先生の的確な教授によって着実に論理的な思考能力や分析力を高めることができます」。卒業研究では日本人が世界へ通じる英語力を養うための要点を提示し、その具体的な教育方法を論考したいと考えている。

吉田先生に出会い、多くの学びを得られたことに、心から感謝しています。
4年次生 盛 詩琚さん



仲間と熱く討議し、旅行も満喫した伊勢志摩のゼミ合宿も大切な思い出です。
4年次生 小澤 かおりさん

私たちの出身地と日本語の発音、そして留学先と英語の発音を聞き、納得される吉田先生の姿に感嘆しました。
4年次生 上田 実佳さん

生命現象は可能性に満ちたサステナブル現象 その研究成果は産業、医療、環境に大きく寄与する

ナノ・バイオサイエンス研究センターでは21世紀を担う生命化学を多角的な視点から探究し、その最先端の知見と技術によって社会に多大な成果をもたらす次世代スマート材料などの開発にまい進している。展開している三つの研究プロジェクトは化学、生物学、物理学、数学など幅広い分野から結集した研究員で構成され、各研究成果を相互に生かしている。また、国際シンポジウムの開催などによる交流も積極的に試み、産官学連携によるナノ・バイオ材料の供給体制の構築も推進中である。

ナノ・バイオサイエンス 研究センター

センター長 小寺 政人

【理工学部機能分子・生命化学科教授】

1984年千葉大学修士課程理学研究科化学専攻修了、1987年京都大学博士後期課程工学研究科合成化学専攻修了。中学生の頃に生命や宇宙の神秘に魅せられ、化学や生物の世界に深い関心を抱く。現在、多忙な日々の中で、気分転換に役立っているのは読書、家庭菜園、料理である。



生命の中核を成す「細胞」を中心に研究

人間を始めとする生物体はタンパク質、脂質、糖質、核酸などの生体物質で構成されている。これらの協働によって生じている生命現象を化学的観点から探究しているのが生命化学である。本研究センターでは細胞を中心にした研究を推し進めている。細胞は生命の最小単位であり、生命とは何かと問う時、これが中核となるからである。近年、ノーベル化学賞においても細胞をテーマにした研究成果による受賞が急増し、21世紀の極めて有望な分野として注目されている。

「生命現象は地球上に誕生して以来、悠久の時を超えて循環し、常に進化を遂げてきた持続可能なシステムです。すなわち、サステナブル現象なのです。次世代に向けて、私たちはこの『無限の可能性を秘めた生命の仕組み』を徹底的に学ぶべきです。これを解明することは、人類の存続と発展に直結します。生命が持つ卓越した機能を真似した人工の化学物質を創出し、巧みに活用することができれば、産業、医療、環境など多彩なフィールドで画期的な成果を得ることが可能です。人工血液、酸素貯蔵物質、次世代燃料電池などがその一例で、これをバイオミメティック・ケミストリーと称しています」。現在、この研究領域において日本は世界のトップグループに位置している。



外部から自在に制御できる新素材を

センターの三つの研究プロジェクトのうち、一つ目のテーマは「複合化技術を鍵とする高性能ナノ・スマート材料の開発」である。「ナノ」は10億分の1を表す単位で、「ナノメートル」は10億分の1メートルである。スマート材料とは熱、光、圧力、磁場などの外部刺激に反応する素材のことで、これらに応答する新素材を創出すれば、外部から自在に制御できるようになる。ちなみに、「スマート」は「賢い」という意味である。生物が行っている非常に複雑なシステムの中で機能させるためには、際立つ「賢さ」が要求されるため、このように称されている。「複合化技術には様々な可能性があります。例えば、人工血液も対象の一つです。酸素を運搬する複合タンパク質であるヘモグロビンと同様の機能を備えた人工的な酸素運搬体の創出に挑んでいます。また、産業的な視点から効率的な酸化反応を起こすことに特化した酵素を生み出

せれば、革新的な成果が得られます」。このプロジェクトでは、本テーマに基づきナノサイズやマクロ（巨視的）とミクロ（微視的）の中間領域に位置するメゾスコピックサイズの分子集合体の設計と合成、人類が制御できる最小の対象である分子を用いて制御のためのスイッチを創出するナノ分子素子の開発、エネルギー・環境問題への化学的貢献。さらに、体の中で様々な働きをしている酵素を模倣することによって、これまでできなかった化学反応の現出を目指す実用触媒の開発にも取り組んでいる。将来、空気中の酸素や窒素を思いのままに活用できる触媒を実現できれば、まさに「夢の触媒」となる。

癌や遺伝子疾患などの治療法も探究

「次世代バイオ・医療技術を指向した機能集積型スマート材料の創出」。これが研究プロジェクトの二つ目のテーマである。具体的には人工タンパク質、ナノ・バイオ材料、細胞生物学における様々な解析手法の開発に取り組んでいる。「DNAと特異に結合する人工タンパク質を創出できれば、DNAの一部を切断して代用することが可能になります。このようにしてマイナス部分をカバーすれば、遺伝子疾患の治療が行えます。また、医療系のナノ・バイオ材料の開発は癌やアルツハイマーなどの療治や進行防止に役立ちます」。解析手法の事例としてはノーベル化学賞を受賞した癌細胞だけを光らせる可視化技術などがある。

研究プロジェクトの三つ目のテーマは「ナノ・バイオシステムにおける階層構造の構築と利用」。この研究チームではマクロ階層としての生物集団の数理モデル解析、セミマクロ・ミクロ階層としての細胞機能の実空間モデリング、コロイド系の自己運動を探究している。「自然界には様々な階層構造が存在しています。例えば、人間の皮膚も同様です。数理モデル解析では、これらの形成状況を数値化し、どのようなタイミングで化学物質を作用させるのが効果的かを考察しています。細胞機能の実空間モデリングでは細胞が能動的な運動をしている状態をコンピュータの中で創出し、生命現象の制御システムの解明を試みています。コロイドは拡散速度が遅く、結晶しにくい物質で、細胞膜もこの集合体です。これもモデリングによる研究です」。このような各研究プロジェクトの最先端の知見や技術を相互に役立て、これらを総合的に進展させることが本研究センターの目的であり、意義であると小寺政人センター長は語る。



2015年度 大学決算について

財務部 経理課

2015年度大学決算は、2016年5月12日開催の大学予算委員会および大学評議会、5月28日開催の法人理事会で承認されました。

2015年度は、今出川校地において、新町キャンパス（尋真館、新町別館）の耐震改修工事を行い、施設設備の整備に取り組みました。教学面では、免許資格課程センターにおいて新たな教員を任用し、更なる運営体制の充実を図りました。京田辺校地においては、サッカー場・アメリカンフットボール場の人工芝改修や熱中症対策等、スポーツ施設の再整備に取り組みました。また、建学の理念である「国際主義」をさらに推進するため、グローバル人材育成推進事業（Go Global Japan）に掲げた取り組みを引き続き遂行しました。学生スタッフSIEDが企画する様々な国際交流イベントを通じて、異文化交流を促進し、グローバルな視点を持った人物の養成に取り組みました。くわえて、「グローバルリソース」の視点から多文化共生の課題に挑む「グローバル・リソース・マネジメント」においても引き続きグローバル・リーダーの養成に取り組み、文部科学省からの中間評価で高い評価（A評価）を得ました。教育及び研究の基盤として運用している情報系システムについては、教務システムや学術情報システムなどのリプレースに取り組みました。

研究力をより一層強化するために、産官学連携や国際共同研究、研究拠点形成などに積極的に取り組んだ結果、「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」にナノ・バイオサイエンス研究センターの「細胞自在操作のための分子化学技術の開発拠点形成」が採択されました。また、赤ちゃん学研究センターが2015年度より本学の先端的教育研究拠点として、新たなスタートを切り、2016年度から文部科学省による「共同利用・共同研究拠点」事業の認定を受けました。

自然災害に対する緊急措置としては、「東日本大震災被災受験生に対する入学検定料および被災学生に対する学費減免措置」を継続するとともに、2015年度の大規模災害についても、学資支弁が困難となった在学生在を対象に減免措置を行いました。

社会との連携を重視した取り組みとして、首都圏の企業と連携して「新ビジネス」フォーラムを実施しました。本学の研究シーズと関連した新規事業の創出とグローバル時代の経済・産業・社会の動向や課題、ニーズを踏まえた研究の企画を目指し、さらなる研究の推進に取り組みました。また、京田辺キャンパスにおいて、「同志社クローバー祭2015」をはじめとした京都府京田辺市との地域連携行事を展開しました。今出川校地においては、学生スタッフARCOが地域と連携したイベントを展開し、地域との連携を深め、今後はボランティア支援の一翼を担います。

既存設備の整備事業として、今出川校地においては、継志館のプール天井改修を実施し、京田辺校地においては知真館1、2号館トイレ改修や空調機器、昇降機の更新等、各種整備に取り組みました。

上記のとおり、2015年度は、従来から継続している国際化の推進と情報系システムのリプレースを中心とし、必要な財政的支援を行いました。支出面においては、教育研究に係る各事業での経常的経費の執行残などにより、予算と比較して減少となりました。一方、収入面では、入学志願者数を安定的に確保したことによる入学検定料の増加や、奨学事業宛寄付金の受入れ、寄贈による寄付金の増収、受託研究事業の採択に伴う外部資金の獲得に継続的に取り組んだことにより、予算よりも増収となっています。

以下、収支計算書に基づき主な収支の内容について説明します。

収入の部

学生生徒等納付金は322億円で、事業活動収入に占める割合は78%と大きな比重を占めています。

手数料は18億円で、入学検定料が主なものです。

寄付金は4億円で、教育研究施設等整備資金寄付金、奨学寄付金、寄付教育研究プロジェクトなど教育研究活動への寄付金、奨学事業への寄付金を受入れました。

補助金は36億円で、国庫補助金が主なものです。この大部分を占めるのが私立大学等経常費補助金で、一般補助22億円、特別補助6億円を受入れています。また、地域発展、産業界・他大学等との連携、グローバル化などの改革に全学的・組織的に取り組む私立大学等に対して重点的に支援される「私立大学等改革総合支援事業」に選定されました。その他の国庫補助金では、施設設備対象の補助金として研究装置、研究設備などの採択を受け、さらにグローバル社会で活躍できる人材を育成するグローバル人材育成推進事業（Go Global Japan）、大学院教育の抜本的改革を支援する博士課程教育リーディングプログラムなどを受入れました。

受取利息・配当金は7億円で、各種引当資産の運用収入および預金などの受取利息・配当金です。

付随事業・収益事業収入は11億円で、企業からの受託研究費などの受託事業収入、学生寮の寮費などの補助活動収入が主なものです。

雑収入は8億円で、私立大学退職金財団からの交付金収入や施設設備利用料収入が主なものです。**繰出金**は4億円で、法人内諸学校からの資金調達額の返済額が主なものです。

分担金は1億円で、法人業務に係る法人内諸学校の負担分です。

当期固定資産除却額は24億円で、機器備品の償却期間完了に伴う除却額などです。

当期末未払金は3億円で、固定資産取得に係る未払金額を今年度の基本金組入額の減額項目として計上しているものです。

第2号基本金取崩額は1億円で、研究装置取得に係る研究装置設備等整備資金の取崩額です。

特定支出準備金取崩額は4億円で、使途が特定された準備金の取崩額などです。

収入の部合計は**444億円**となり、寄付金、付随事業・収益事業収入、雑収入などの増収により予算に対して14億円の増加となりました。

支出の部

人件費は204億円で、事業活動収入に占める割合は49%となりました。

教育研究経費は163億円で、経常的な教育研究活動に要した経費です。

管理経費は18億円で、大学の維持管理に要した経費です。

繰入金は5億円で、法人内諸学校への資金調達による繰入額が主なものです。

施設関係支出は16億円で、既存建物の耐震改修工事や人工芝改修工事などによる支出です。

設備関係支出は18億円で、教育研究用機器備品、図書などの固定資産取得に係る支出です。

当期固定資産受贈額は1億円で、現物寄付金に相当する固定資産の取得額です。

借入金等返済支出は1億円で、償還計画に基づく返済額です。

前期末未払金は1億円で、前年度に取得した固定

資産に係る未払金額の支払額を今年度の基本金組入額として計上しているものです。

特定支出準備金繰入額は7億円で、使途特定寄付金および研究費などの予算繰越額を決算において繰り入れたものです。

支出の部合計は**447億円**で、予算に対して8億円の減少となりました。

収支差額

収入の部合計から支出の部合計を差し引いた**当年度収支差額は3億円**の支出超過となり、寄付金や付随事業・収益事業収入の増加や教育研究経費の執行残などにより、予算に対して22億円減少しました。なお、累積収支差額としては**341億円**の支出超過額を翌年度以降に繰り越すことになります。

借入金

借入金残高は、前年度末に対して1億円減少し、当年度末では**1億円**となりました。

自己資金の不足額

支出超過額は内部資金の不足額であり、借入金は外部資金への依存額です。したがって、この両方を合わせた金額が自己資金の不足額となります。

前年度末の不足額は350億円でしたが、当年度末に対して8億円減少し、**342億円**となりました。

(本文中の金額については1億円未満を調整しています。また、2015年度から学校法人会計基準の一部が改正され、次のとおり科目名称が変更になっています。帰属収入→事業活動収入、資産運用収入（施設設備利用料を除く）→受取利息・配当金、事業収入→付随事業・収益事業収入、消費支出→事業活動支出。)

収支計算書

2015年4月1日から2016年3月31日まで

収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金	32,099,360	32,176,650	△ 77,290
手数料	1,732,200	1,798,311	△ 66,111
寄付金	198,720	396,714	△ 197,994
補助金	3,638,070	3,591,914	46,156
受取利息・配当金	724,680	749,538	△ 24,858
資産売却差額	0	0	0
付随事業・収益事業収入	966,210	1,140,606	△ 174,396
雑収入	743,280	840,154	△ 96,874
繰出金	444,440	444,035	405
分担金	111,210	111,210	0
(事業活動収入合計)	(40,658,170)	(41,249,132)	(△ 590,962)
当期固定資産除却額	1,999,980	2,364,809	△ 364,829
借入金等収入	0	0	0
当期末未払金	38,320	321,793	△ 283,473
第2号基本金取崩額	60,000	60,000	0
(基本金過年度組入額、未組入額合計)	(2,098,300)	(2,746,602)	(△ 648,302)
特定支出準備金取崩額	179,230	357,798	△ 178,568
[収入の部合計]	[42,935,700]	[44,353,532]	[△ 1,417,832]

用語解説

収支計算書

当該会計年度における収入及び支出の内容並びに均衡の状態をより明らかにするため、事業活動収支計算書をもとに基本金組入額計算に係る各項目をそれぞれ収入・支出の部に計上したのが「収支計算書」です。

基本金

第1号基本金は、学校法人が、教育研究活動に供するため、自己資金により取得した固定資産の価額です。

収支計算書において第1号基本金組入額は、支出の部に取得した固定資産（施設関係支出、設備関係支出、現物寄付資産）の額を表示し、さらに過年度取得した固定資産に係る借入金等返済支出を表示しています。また、収入の部に固定資産取得に係る借入金等収入、固定資産除却による再取得価額などを表示しています。

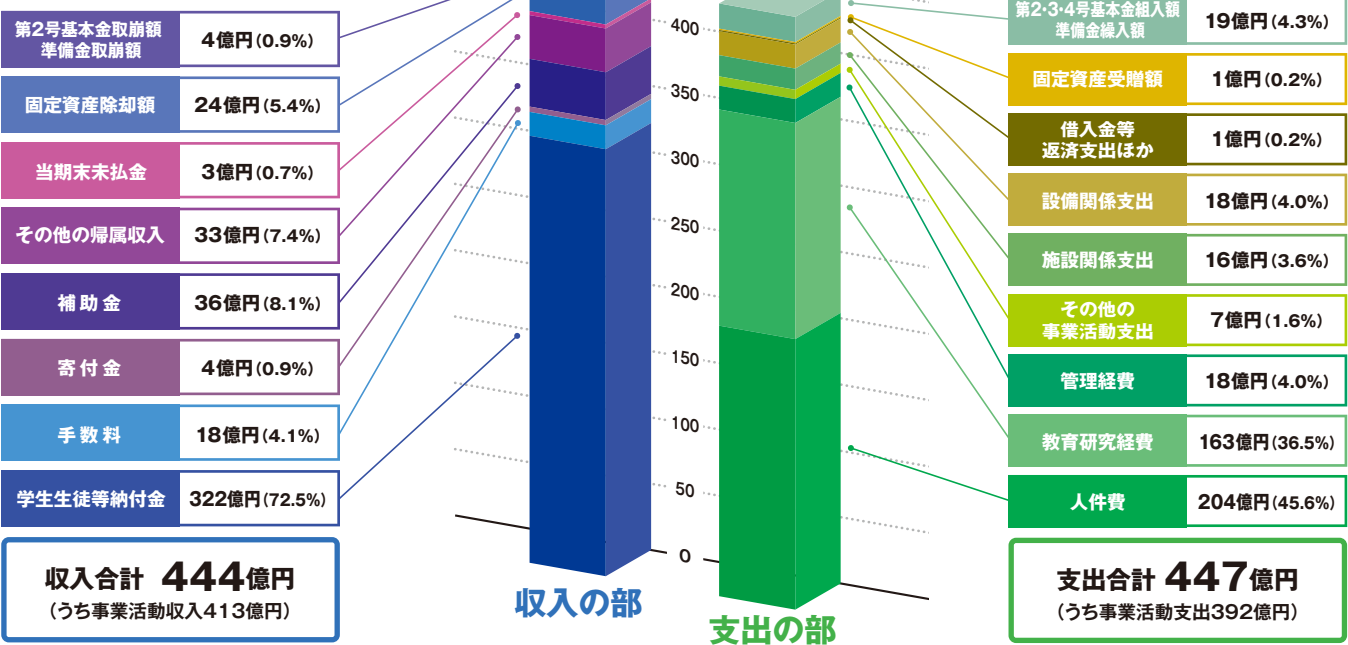
第2号基本金は、将来取得する固定資産に充てるための資金です。

第3号基本金は、基金として継続的に保持し、その運用果実により教育研究活動の遂行を支援するための資金です。

第4号基本金は、恒常的に保持すべき資金として学校法人会計基準が定める額です。

収支構成図

(図の金額については1億円未満を調整しています)





「ガールズリーダー交流会」を開催



7月24日、京田辺キャンパスにおいて、本学が実施する「科学するガールズ」養成プログラムの取り組みの一つである、「ガールズリーダー交流会」を開催しました。このプログラムは国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)の「平成28年度女子中高生の理系進路選択支援プログラム」の支援を受けて実施しており、特に日本の先進テクノロジーを支える情報、電気電子、機械系分野に新たな風を吹き込むために、「物理」をキーワードとして、関西文化学術研究都市推進機構、オムロン株式会社、IEEE(Institute of Electrical and Electronics Engineers)関西支部 Women in Engineering Affinity Group、科学教育研究協議会京都支部と連携して京阪奈を拠点に、理系進路選択を悩む女子中高生への進路支援のための取り組みです。記念すべき1回目の交流会は、「科学する女子って?皆で考える“リケジョ”のスタイル〜自分らしく輝ける進路

を探してみませんか?〜」と題して、同日に開催されたオープンキャンパスのプログラムとして実施しました。女子中高生やその保護者の方々に加え、中高教員を含めて50人を超える参加がありました。

当日は、冒頭にプログラムの代表である林田明理工学部長より開会の挨拶があり、続けて松川真美理工学部教授がプログラムの概要、取り組みの意義を説明しました。次に、先輩技術者による経験談紹介として、本学の卒業生であり、株式会社島津製作所で働く福井麻紀氏にご講演いただきました。自らの経験に基づき、なぜ理系に進学したのか、理系に進んだことが自身にどのような影響を与えたかということに加え、所属企業でどのような業務に従事し、そこから日々感じていることなど、「リケジョ」として活躍される現状についても話していただきました。

その後、参加者と福井氏や交流会の運営をサポートしている大学院生による意見交換会を実施し、参加者は自らの不安や疑問をぶつけ、自分らしい将来を手につかもうと目を輝かせながら意見交換を行っていました。

交流会終了後、参加者からは「理系に進んで大学での学びを終えた後、将来的にどのようなことができるようになるのか、どのような仕事に就くことができるのかイメージできた」、「実際に理系に進んだ現役大学生の志望理由を聞くことができ、進路選択に関わる漠然とした不安を取り除くことができた」という声があり、関心が非

常に高かったことがうかがえました。このような交流会を継続的に実施することで、本プログラムが目指す理系進路選択支援の一助となることを願っています。

(理工学部事務室)

同志社大学とデルタ航空調印式



同志社大学とデルタ航空は、本学の学生がアメリカの協定大学に留学する際の往復航空券をデルタ航空が無償で提供することに合意し、7月14日にデルタ航空の森本大日本支社長と松岡敬学長による調印式を行いました。

本学は現在、34カ国(地域)141大学と学生交換協定を結んでおり、アメリカにはアーモスト大学、ハーバード大学、コロンビア大学など、45の協定大学があります。

留学によって未知の世界を体感し、自分の可能性を何倍も何十倍にも広げてみませんか?

(広報課)

2016年度春学期外国語honors認定書授与式

5月26日、クラーク記念館(クラーク・チャペル)にて、2016年度春学期の外国語honors認定書授与式を挙行了しました。

外国語honors制度(外国語科目成績優秀者表彰制度)は、高度な外国語運用能力と国際的な視野と見識を備えた人材の育成を目標に、外国語について優秀な成績を修めた学生を表彰する制度で、2006年度春学期から導入しています。

授与式では、稲岡恭二教務部長の司会のもと、松岡敬学長が祝辞を述べ、外国語科目成績優秀者一人ひとりに認定書と記念品を手渡しました。

認定を受けたのは、神学部1人、文学部9人、社会学部1人、法学部3人、商学部1人、政策学部1人、グローバル・コミュニケーション学部12人、グローバル地域文化学部1人の計29人で、言語の内訳は、英語14人、フランス語2人、中国語10人、ロシア語1人、アラビア語1人、ヘブライ語1人でした。

認定書を授与された学生は、右記の通りです。(敬称略)



■外国語honors(英語)

阿武 慶樹(文学部・2013年度生)
荒井友梨子(文学部・2013年度生)
藤本 麗奈(文学部・2013年度生)
河北 弘済(文学部・2013年度生)
和田 葵(文学部・2013年度生)
卞 若懿(文学部・2014年度生)
福井 佐恵(文学部・2014年度生)
真本 大生(法学部・2012年度生)
加藤 美緒(法学部・2013年度生)
青山 祥穂(グローバル・コミュニケーション学部・2013年度生)
井口 聖葉(グローバル・コミュニケーション学部・2013年度生)
加納 理衣(グローバル・コミュニケーション学部・2013年度生)
加藤 聖人(グローバル・コミュニケーション学部・2013年度生)
盛 詩瑠(グローバル・コミュニケーション学部・2013年度生)

■外国語honors(フランス語)

武田有美子(文学部・2012年度生)
小宮山紗良(グローバル地域文化学部・2014年度生)

■外国語honors(中国語)

太田 未来(社会学部・2012年度生)
炭谷 麻緒(法学部・2013年度生)
辻 智己(商学部・2012年度生)
池本 真菜(グローバル・コミュニケーション学部・2013年度生)
加藤 真澄(グローバル・コミュニケーション学部・2013年度生)
是澤 智子(グローバル・コミュニケーション学部・2013年度生)
村地 祥歌(グローバル・コミュニケーション学部・2013年度生)
長野 礼奈(グローバル・コミュニケーション学部・2013年度生)
永岡 水矩(グローバル・コミュニケーション学部・2013年度生)
野見山玲奈(グローバル・コミュニケーション学部・2013年度生)

■外国語honors(ロシア語)

大西 具徳(政策学部・2013年度生)

■外国語honors(アラビア語)

二階堂耕市(文学部・2013年度生)

■外国語honors(ヘブライ語)

小林 拓也(神学部・2009年度生)

(今出川校地教務課)

キャンパスを仮想体験!?

「今の同志社大学」をより多くの方々に伝えるため、7月に今出川・京田辺・烏丸・室町の4キャンパスの様子をGoogle スト



(広報課)

リートビュー™上で公開しました。

今出川キャンパスでは、西門で学生スタッフとチアリーダー部がお出迎えし、5棟の重要文化財を巡りながら正門までの道筋をご紹介します。京田辺キャンパスでは、正門から昨年竣工した同志社京田辺会堂を右手に見ながら、最奥の体育施設までの

道筋をご紹介します。

今秋には今出川の重要文化財、リオ五輪の代表選手が練習した京田辺の体育施設など、伝統と革新の校舎・施設内についても順次公開していく予定です。お楽しみに!

なお、新町キャンパスは工事のため、次年度以降に公開予定です。

2016年度プロジェクト科目春学期成果報告会

7月24日、京田辺キャンパス同志社ローム記念館にて、全学共通教養教育科目「プロジェクト科目」2016年度春学期成果報告会を開催しました。春学期科目1クラスにとっては最終報告、春学期・秋学期連結科目14クラスにとっては中間報告となる今回の成果報告会は、活動の成果をまとめたポスターを基にポスターセッション形式で行われました。

当日はオープンキャンパスも開催されており、京都のみならず他府県からも多くの教育機関関係者や過年度の履修生などが集まり、会場は約250人の参加者の熱気に包まれました。

各科目のブースでは、ポスターや展示物、衣装などに科目ごとの工夫が見られ、履修生は、春学期の活動の成果について熱心

に説明していました。審査員からもその熱意や一丸となって取り組むチームとしての姿勢を高く評価されましたが、科目ごとの活動量に大きな差があったことや、チーム内で活動が収束してしまい、外部に向かう活動が少ないことなどが今後の課題として指摘されました。また、社会に向けて、学生らしいのびのびとした活動を期待する声もありました。

終了後には、メンバーが集まって反省会を行う科目や、審査員にアドバイスを求める履修生の姿が見られ、秋学期の活動に向けてこの経験を活かそうとする前向きな姿勢がうかがえました。各クラスにとって、



問題を再発見し、今後の活動の見直しを行う良い機会となりました。

閉会式では、最優秀賞、優秀賞および特別賞の表彰が行われました。各賞は以下の通りです。

■最優秀賞

○テーマパークの利用者満足度向上に関する企画立案プロジェクト

【科目担当者】山名 正樹

科目代表者: 田中 達也(理工学部)

■優秀賞

○子供が遊びながら遊び学べる知育玩具の企画立案

【科目担当者】渡辺 公貴

科目代表者: 田中 和人(生命医科学部)

■特別賞

○地域応援プロジェクト

〜同志社から、スポーツの力で恩返し〜

【科目担当者】高橋 仁美

科目代表者: 宿久 洋(文化情報学部)

(今出川校地教務課)

リオデジャネイロオリンピック・パラリンピック

8月、9月にリオデジャネイロオリンピック・パラリンピックが開催され、本学の卒業生4人が日本代表として出場しました。また、在学生である松井千士選手は7人制ラグビー男子日本代表のバックアップメンバーとして帯同しました。

2020年東京オリンピック・パラリンピックでの、同志社アスリートのさらなる飛躍を願いたします。各アスリートの戦績は右記の通りです。

オリンピック

■アーチェリー（女子個人・団体）

林 勇気 選手（商学部07年卒）
個人：59位（1回戦敗退）
団体：8位（準々決勝敗退）

■フェンシング（男子フルーレ個人）

太田 雄貴 選手（商学部08年卒）
32位（2回戦敗退）

■セーリング（女子RS:X級）

伊勢田 愛 選手（商学部10年卒）
総合成績20位

パラリンピック

■アーチェリー（男子リカブ個人）

上山 友裕 選手（商学部10年卒）
7位（準々決勝敗退）

（スポーツ支援課）

新任教員紹介

授業科目を担当する専任教員を紹介します。

①所属(学科／専攻) ②職名 ③主な担当科目



PEDERSEN Hillary Eve
(ピーダセン ヒラリー イブ)
①文(美学芸術)
②助教(有期) ③美術史特論(5)



畑本 裕介
(はたもと ゆうすけ)
①政策(政策)
②准教授 ③アカデミックスキル1



坂本 英俊
(さかもと ひでとし)
①理工(機械システム工)
②教授(有期) ③連続体力学



森岡 悠
(もりおか ひさし)
①理工(エネルギー機械工)
②助教(有期) ③線形代数学Ⅱ

2016年度 卒業式・学位授与式 / 2017年度 入学式

日 時		学 部 ・ 研 究 科	場 所
3月20日 (月・祝)	10:00	文学部・文学研究科	栄 光 館 (今出川校地)
	12:30	法学部・法学研究科	
	15:00	神学部・神学研究科、政策学部・総合政策科学研究科、 グローバル地域文化学部、司法研究科、ビジネス研究科	
3月21日 (火)	10:00	社会学部・社会学研究科、国際教育インスティテュート、 アメリカ研究科、グローバル・スタディーズ研究科、留学生別科	
	12:30	商学部・商学研究科	
	15:00	経済学部・経済学研究科	
3月22日 (水)	10:00	理工学部・理工学研究科	デイヴィス記念館 (京田辺校地)
	13:00	文化情報学部・文化情報学研究科、生命医科学部・生命医科学研究科、 スポーツ健康科学部・スポーツ健康科学研究科、心理学部・心理学研究科、 グローバル・コミュニケーション学部、脳科学研究科	

卒業式学位授与式(学部)大学院(留学生別科)修了式

入学式	4月1日 (土)	10:00	商学部、理工学部、生命医科学部、グローバル・コミュニケーション学部	デイヴィス記念館 (京田辺校地)
		12:00	神学部、法学部、経済学部、心理学部、グローバル地域文化学部	
		14:00	文学部、社会学部、政策学部、文化情報学部、スポーツ健康科学部	
	4月3日 (月)	10:00	全研究科	栄光館 (今出川校地)
		12:30	国際教育インスティテュート	クラーク記念館 (今出川校地)

本学教員の執筆図書紹介

図書館調べ(価格は税別)

さらばアホノミクス

浜矩子 著 毎日新聞出版 1,100円

シェイクスピア時代の演劇世界

勝山貴之 他 著 九州大学出版会 4,300円

2016年日本経済

複合危機襲来の年になる!

浜矩子 他 著 東洋経済新報社 1,500円

生命侵害の損害賠償

田井義信 著 信山社 3,400円

信頼学の教室

中谷内一也 著 講談社 760円

翻訳『韓国口碑文学大系』1

廣田収 他 編 金壽堂出版 3,000円

情報の評価とコレクション形成

佐藤翔 他 著 勉誠出版 1,800円

政治行動論

飯田健 他 著 有斐閣 1,800円

大コンメンタール刑法

第3版 第6巻

河村博 他 著 青林書院 8,400円

スポーツツーリズム・ハンドブック

二宮浩彰 他 著 学芸出版社 2,000円

空飛ぶ大学

内藤正典 他 著 出窓社 1,800円

現代の金融機関と法 第5版

川口恭弘 著 中央経済社 3,200円

人的資源管理

瓜生原葉子 他 著 中央経済社 2,400円

新・日本の会社法

川口恭弘 他 著 商事法務 3,500円

イギリス風殺人事件の愉しみ方

玉井史絵 他 訳 NTT出版 3,600円

戦場の性

石井香江 他 訳 岩波書店 3,800円

日本の児童虐待防止・

法的対応資料集成

横田光平 他 著 明石書店 20,000円

現代中国の諸問題と日中関係

嚴善平 他 著 桜美林大学北東アジア総合研究所 1,800円

グローバル化と公法・

私法関係の再編

浅野有紀 他 編著 弘文堂 4,600円

国際関係のなかの子どもたち

中西久枝 他 著 晃洋書房 2,700円

はじめての自然言語処理

土屋誠司 著 森北出版 2,200円

『しのびね物語』注釈

岩坪健 著 和泉書院 9,000円

事例で考える会社法 第2版

伊藤靖史 他 著 有斐閣 3,500円

ミニチュアの妻

藤井光 訳 白水社 2,600円

小学校で法を語ろう

新井京 尾形健 戒能通弘 釜田薫子 川崎友巳 濱真一郎 林貴美 他 訳 成文堂 3,000円

EU消滅

浜矩子 著 朝日新聞出版 1,300円

教員養成の新視点

新茂之 他 訳 晃洋書房 3,100円

パウロの教会はどう理解されたか

村山盛章 訳 日本キリスト教団出版局 2,400円

京都の歴史を歩く

小林文広 他 著 岩波書店 900円

ケースブック労働法 第8版

土田道夫 他 編著 弘文堂 4,200円

ハンドブック近代日本外交史

中谷直司 森靖夫 他 著 ミネルヴァ書房 3,000円

演出家の誕生

川島健 著 彩流社 1,800円

みる よむ わかる 精神医学入門

川本哲郎 他 訳 医学書院 4,200円

今村家文書史料集 下巻 近代編

小林文広 他 著 思文閣出版 9,200円

メディア新生活

竹内幸絵 他 著 新曜社 4,500円

ソーシャルワーク論

空閑浩人 著 ミネルヴァ書房 2,200円

歴史のなかの社会国家

川越修 他 編著 服部伸 石井香江 他 著 山川出版社 4,000円

現代国家と市民社会の

構造転換と法

横田光平 他 著 日本評論社 6,200円

みんなで行こう

アホノミクスの向こう側

浜矩子 著 かもがわ出版 1,200円

院政鎌倉期説話の

文章文体研究

藤井俊博 著 和泉書院 8,000円

漂泊の叙事

唐願芸 他 編著 勉誠出版 8,000円

トルコ

中東情勢のカギをにぎる国

内藤正典 著 集英社 1,500円

スクリブナー思想史

大事典 全10巻

二村太郎 他 訳 丸善出版 300,000円

「評価」を持って街に出よう

須藤潤 他 著 くろしお出版 3,600円

京都実相院門跡

井上一稔 廣田収 他 著 思文閣出版 2,000円

韋君宜研究

楠原俊代 著 中国書店 10,000円

原理から考える政治学

出原政雄 他 編著 法律文化社 2,900円

法の理論34

戒能通弘 濱真一郎 他 著 成文堂 3,800円

愛と経済のバトルロイヤル

佐伯順子 他 著 青土社 1,800円

イスラームとの講和

内藤正典 他 著 集英社 760円

確認行政法用語230 第2版

黒坂則子 小谷真理 他 著 成文堂 500円

応用行動分析から対人援助学へ

武藤崇 他 著 晃洋書房 2,800円

ターミナルから荒地地へ

藤井光 著 中央公論新社 1,850円

メディア

和泉真澄 他 著 クロスカルチャー出版 3,700円

福島が日本を超える日

浜矩子 他 著 かもがわ出版 1,500円

民事訴訟法概説 第2版

川嶋四郎 著 弘文堂 4,200円

マンガ文化55のキーワード

竹内オサム 他 編著 ミネルヴァ書房 2,600円

伝統主義と文明社会

小島秀信 著 京都大学学術出版会 5,200円

計量文献学の射程

金明哲 土山玄 上阪彩香 他 著 勉誠出版 3,800円

ウエスト固体化学

加藤将樹 他 訳 講談社 5,500円

世界文学への招待

藤井光 他 著 放送大学教育振興会 2,900円

ヒトマイクロバイーム

研究最前線

米井嘉一 高部稚子 他 著 エヌ・ティー・エス 46,000円

越境する「二世」

吉田亮 編 吉田亮 物部ひろみ 他 著 現代史料出版 3,600円

1からの戦略論 第2版

富田健司 他 著 碩学舎 2,400円



2015 リユニオン・ホームカミングデー「同志社マルシェ」



新作能「庭上梅」上演



朝食倶楽部

同志社校友会活動、同志社大学との連携

世界に広がる「同志社ネットワーク」
これまで33万人の校友会員が国内外で活躍

同志社校友会

同志社創立から10年後の1885年（明治18年）に「アルムニ（Alumni）会」という名前をもって発足したのが同志社校友会の始まりです。同志社小学校、同志社中学校・高等学校、同志社香里中学校・高等学校、同志社国際中学校・高等学校、同志社国際学院初等部・国際部、同志社大学の卒業生および、大学院修了生で組織されています。これまで約33万人の校友会員が国内外で活躍し、その交流の拠点となっているのが校友会です。

同志社校友会基本方針

同志社校友会は、同志社の発展に寄与するという目的を掲げ、支部の基盤を強化し、大学事業支援、学生支援、卒業後の社会人活動支援に軸を置いて活動を行っています。近年は海外支部との連携も深まり、大学のグローバルな展開の支援も行っています。



同志社校友会会長
井上 礼之

昭和32年経済学部卒業
ダイキン工業株式会社
取締役会長 兼
グローバルグループ
代表執行役員

日本経済団体連合会 常任幹事
関西経済同友会 代表幹事（平成11年～平成13年）
関西経済連合会 副会長（平成13年～現在）
阪急阪神ホールディングス（株）、関西電力（株）、（株）大阪
国際会議場、テレビ大阪（株）四社の社外取締役 等

校友会活動を通して、学生生活だけでなく卒業後もサポートしています。

学生の皆さんへ

キャンパスライフでのサポート

①各種奨学金制度（給付型）

- 同志社校友会奨学金
- 同志社スポーツ奨学金
- 同志社校友会グローバル人材育成奨学金（海外留学支援）

②学生緊急支援制度（学生セーフティネット）
様々な理由により経済的に学業の継続が困難になった場合に、大学と連携して緊急支援を行います。

③大学連携事業

下宿生を対象にした懇親会企画やコミュニティ立ち上げのバックアップ、毎週1回「100円」でおいしい朝食を学食で

提供する「朝食倶楽部」への支援など、大学と連携しながら学生の皆さんのキャンパスライフが豊かになるよう支援を行っています。

④京田辺活性化支援

⑤学生課外活動支援

支部総会や地方でのイベントなど校友会とクラブが連携して行う活動の支援や、クラブ課外活動の告知サポートなど。

⑥学生海外活動支援

海外の支部や校友会員の企業を拠点として、留学生活サポートや海外インターンシップを応援します。

⑦国内外支部との連携

地元への就職や新しい土地への赴任先の最新の情報にアクセスできるよう、国内外支部連携や活動を支援しています。

卒業後のサポート 「校友会のネットワーク」を活かす！

就職や転職の情報が知りたい！就職、転職、転居が決まった！そんな時は「その地域の支部」に連絡してみてください。あなたの先輩がいろんな情報を教えてくれます。

そして同志社を卒業したあなたは「校友会員」です。「同志社校友会大懇親会」や支部の企画に参加してみましょう。諸先輩から有用な情報や、時には適切な人脈を紹介してもらえるかもしれません。ビジネスだけでなく趣味や生活など「ここだけの校友会情報」がたっぷり。

同志社校友会のネットワークは学生の皆さんの「キャンパスライフ」と卒業後の「同志社ライフ」が豊かになるよう、ワールドワイドに展開しています。

世界に広がる「同志社ネットワーク」

（2016年9月15日現在）

国内支部

北海道支部 TEL：011-382-2188
E-mail: info@hokkaido.doshisha-alumni.org
HPアドレス: http://hokkaido.doshisha-alumni.org

青森県支部 TEL：090-4044-7071
E-mail: info@aomori.doshisha-alumni.org
HPアドレス: http://www.aomori.doshisha-alumni.org

岩手支部 TEL：019-662-3671
E-mail: info@iwate.doshisha-alumni.org
HPアドレス: http://www.iwate.doshisha-alumni.org

宮城県支部 TEL：022-378-5853
E-mail: info@miyagi.doshisha-alumni.org
HPアドレス: http://sky.geocities.jp/motorakuten/index.html

秋田県支部 TEL：018-837-3080

山形県支部 TEL：023-622-7195
E-mail: info@yamagata.doshisha-alumni.org

福島県支部 TEL：0248-25-2046
E-mail: kohituzi@triton.ocn.ne.jp
HPアドレス: http://doshisy7.main.jp

茨城県支部 TEL：029-874-2051
E-mail: info@ibaraki.doshisha-alumni.org

栃木県支部 TEL：028-622-8844
E-mail: info@tochigi.doshisha-alumni.org
HPアドレス: http://www.tochigi.doshisha-alumni.org

群馬県支部 TEL：0270-65-1684
E-mail: info@gunma.doshisha-alumni.org
HPアドレス: http://www.gunma.doshisha-alumni.org

埼玉県支部 TEL：048-854-3788
E-mail: info@saitama.doshisha-alumni.org
HPアドレス: http://www.saitama.doshisha-alumni.org

千葉県支部 TEL：047-337-0893
E-mail: info@chiba.doshisha-alumni.org
HPアドレス: http://www.chiba.doshisha-alumni.org

東京支部 TEL：03-5579-9728
E-mail: office@doshisha-tokyo-alumni.jp
HPアドレス: http://doshisha-tokyo-alumni.jp/

神奈川県支部 TEL：0467-70-2447
E-mail: takehisa@doshisha-u.net
HPアドレス: http://blog.goo.ne.jp/doshisha-kanagawa/

山梨県支部 TEL：055-237-2977
E-mail: info@yamanashi.doshisha-alumni.org
HPアドレス: http://www.yamanashi.doshisha-alumni.org

長野県支部 TEL：026-232-2347
E-mail: info@nagano.doshisha-alumni.org
HPアドレス: http://www.nagano.doshisha-alumni.org

新潟県支部 TEL：025-247-7117
E-mail: info@niigata.doshisha-alumni.org
HPアドレス: http://www.niigata.doshisha-alumni.org/

富山県支部 TEL：076-421-8585
E-mail: info@toyama.doshisha-alumni.org
HPアドレス: http://www.toyama.doshisha-alumni.org

石川県支部 TEL：076-266-0555
E-mail: info@ishikawa.doshisha-alumni.org
HPアドレス: http://www.ishikawa.doshisha-alumni.org

福井県支部 TEL：090-8267-9493

岐阜県支部 TEL：058-214-9000
E-mail: info@gifu.doshisha-alumni.org
HPアドレス: http://www.gifu.doshisha-alumni.org

静岡県支部 TEL：054-237-5181
E-mail: info@shizuoka.doshisha-alumni.org
HPアドレス: http://www.shizuoka.doshisha-alumni.org

愛知支部 TEL：052-205-9800
E-mail: kamiya@f-nexus.com
HPアドレス: http://www.doshisha-aichi.com/

三重県支部 TEL：0595-96-0909
E-mail: info@mie.doshisha-alumni.org
HPアドレス: http://www.mie.doshisha-alumni.org

滋賀県支部 TEL：077-579-8601
E-mail: info@shiga.doshisha-alumni.org
HPアドレス: http://www.shiga.doshisha-alumni.org

京都支部 TEL：075-541-5181
E-mail: info@kyoto.doshisha-alumni.org

大阪支部 TEL：06-6308-2288
E-mail: info@osaka.doshisha-alumni.org
HPアドレス: http://www.doshisha-osaka.jp/

兵庫県支部 TEL：078-232-7100
E-mail: info@doshisha-hyogo.org
HPアドレス: http://www.doshisha-hyogo.org/

奈良県支部 TEL：0742-27-1550
E-mail: info@nara.doshisha-alumni.org

和歌山県支部 TEL：073-432-5776
E-mail: info@wakayama.doshisha-alumni.org

鳥取県支部 TEL：0857-23-2291
E-mail: info@tottori.doshisha-alumni.org
HPアドレス: http://www.tottori.doshisha-alumni.org

島根県支部 TEL：0852-28-5898
E-mail: tewt181@ezweb.ne.jp

海外支部

ニューヨーク同志社会
E-mail: nydoshishakaijimukyoku@gmail.com
HPアドレス: http://www.ny.doshisha-alumni.org

ワシントンDC同志社会
E-mail: info@washington.doshisha-alumni.org
HPアドレス: http://www.washington.doshisha-alumni.org

米国中西部支部
E-mail: info@us-midwest.doshisha-alumni.org
HPアドレス: http://www.us-midwest.doshisha-alumni.org

米国西部支部
E-mail: info@us-west.doshisha-alumni.org
HPアドレス: http://www.us-west.doshisha-alumni.org

同志社トロント会
E-mail: doshisha.toronto@gmail.com
Facebook: https://www.facebook.com/groups/519684948123907/

カナダ同志社バンクーバー会
TEL：1-604-688-1956
E-mail: doshishavancouver@hotmail.com
Facebook: https://www.facebook.com/groups/872835306084224/

ブラジル・サンパウロ同志社会
TEL：011-5561-1424
E-mail: info@sp-brasil.doshisha-alumni.org

韓国校友会
住所：ソウル特別市 鐘路区 鐘路2街 9番地
ソウルYMCA 4F 408号 110-753

香港支部・香港クローバー会
E-mail: doshisha_hk@yahoo.co.jp

北京クローバー会
E-mail: ken.yanagisawa@ms-ins.com
HPアドレス: http://doshisha-sh.wx.com/doshisha-sh#untitled/c1095

大連同志社クローバー会
E-mail: huaqing_wang1111@yahoo.co.jp

同志社大学上海クローバー会
E-mail: doshishash@gmail.com
HPアドレス: http://doshisha-sh.wx.com/doshisha-sh

広州クローバー会
E-mail: info@gz-china.doshisha-alumni.org

青島クローバー会
TEL：86-0532-81108396
E-mail: info@qd-china.doshisha-alumni.org
HPアドレス: http://www.qd-china.doshisha-alumni.org

台湾支部
TEL：886-2-2331-1278
E-mail: kaolisa888@gmail.com

同志社校友会ベトナム支部今出川倶楽部
TEL：04-090-4857-519
E-mail: info@vietnam.doshisha-alumni.org
HPアドレス: http://www.vietnam.doshisha-alumni.org

フィリピン・マニラ・クローバー会
TEL：+63-917-883-8100
E-mail: info@manila.doshisha-alumni.org

タイ・泰国同志社クローバー会
TEL：6686-088-3291

マレーシア新島会
TEL：+60-16-446-6326 / +60-12-716-6326
E-mail: kogure@durachem.com.my

校友会および
国内外支部の
情報はこちらより

本部事務局 TEL：075-251-4393
E-mail: doshisha.alumni@gmail.com
http://www.doshisha-alumni.gr.jp/index.html

岡山県支部 TEL：090-3746-5612
E-mail: info@okayama.doshisha-alumni.org
HPアドレス: http://www.okayama.doshisha-alumni.org

広島県支部 TEL：082-942-2273
E-mail: info@hiroshima.doshisha-alumni.org
HPアドレス: http://www.hiroshima.doshisha-alumni.org

山口県支部 TEL：0827-31-9346
E-mail: horiuchi@sky.icn-tv.ne.jp

徳島県支部 TEL：088-653-0002
E-mail: fc8j6p@bma.biglobe.ne.jp
HPアドレス: http://www.tokushima.doshisha-alumni.org

香川県支部 TEL：087-891-9213
E-mail: info@kagawa.doshisha-alumni.org
HPアドレス: http://www.kagawa.doshisha-alumni.org

愛媛県支部 TEL：0897-55-7151
E-mail: info@ehime.doshisha-alumni.org

高知県支部 TEL：088-884-1703
E-mail: harimaya@isis.ocn.ne.jp

福岡支部 TEL：092-632-8222
E-mail: fukuoka.doshisha@gmail.com
HPアドレス: http://doshisha-fukuoka.com

北九州支部 TEL：093-621-3646
E-mail: info@kitakyushu.doshisha-alumni.org
HPアドレス: http://www.kitakyushu.doshisha-alumni.org

佐賀県支部 TEL：0952-62-1198
E-mail: info@saga.doshisha-alumni.org
HPアドレス: http://www.saga.doshisha-alumni.org

長崎県支部 TEL：095-825-1723
E-mail: info@nagasaki.doshisha-alumni.org
HPアドレス: http://www.nagasaki.doshisha-alumni.org

熊本県支部 TEL：096-243-1221
E-mail: info@kumamoto.doshisha-alumni.org
HPアドレス: http://www.kumamoto.doshisha-alumni.org

大分県支部 TEL：097-574-7225
E-mail: info@oita.doshisha-alumni.org
HPアドレス: http://www.oita.doshisha-alumni.org

宮崎県支部 TEL：0985-51-3067
E-mail: info@miyazaki.doshisha-alumni.org
HPアドレス: http://www.miyazaki.doshisha-alumni.org

鹿児島県支部 TEL：099-202-0732
E-mail: info@kagoshima.doshisha-alumni.org
HPアドレス: http://www.kagoshima.doshisha-alumni.org

沖縄県支部 TEL：098-933-9956, 090-4345-6450
E-mail: info@okinawa.doshisha-alumni.org
HPアドレス: http://www.okinawa.doshisha-alumni.org

シンガポール・クローバー会
TEL：65-6423-9472
E-mail: umeda@barreilol.com.sg

インドネシア・クローバー会
TEL：+62-817-699-9923
E-mail: yasuyuki.yamazaki@obayashi.ntt.net.id

オーストラリア・クローバークラブ シドニー支部
E-mail: info@sydney.doshisha-alumni.org
HPアドレス: http://www.sydney.doshisha-alumni.org

オーストラリア・クローバークラブ ブリスベン支部
TEL：+610438498740
E-mail: tmasamura@nac-wmt.com.au

トルコ・イスタンブールクローバー会
TEL：90-532 730 3218
E-mail: minoru.iwamura@nipponpaint.jp

ドイツクローバー会
E-mail: doshishacllover@yahoo.com
HPアドレス: http://www.germany.doshisha-alumni.org

パリ同志社クローバー会
TEL：33-(0) 6.89.08.85.00
E-mail: doshishaparis@gmail.com
HPアドレス: http://www.paris.doshisha-alumni.org

同志社スペイン会
TEL：+34-952-296-225
E-mail: tokomimosa@hotmail.com

英国・ロンドン・クローバー会
TEL：44-077-4892-5687
E-mail: atsukoconsole@gmail.com

Messages from International Students

留学生紹介



サラ シオリ マホニー さん

2016年4月～2016年9月
日本語・日本文化教育センターに在学(アメリカ出身)

「大学生」としての時間を最大限に活かしたいと思ったこと、それが京都への留学を決めた理由です。京都は特別な都市で、伝統と革新が融合し、それらが景観や人々に映し出され、私が日本文化に浸ることを許してくれました。同志社で学ぶことと京都に住むことは、私が人として成長するために、挑戦的で価値のある経験を提供し続けてくれています。

障がいのある学生にとって、海外に住み、学ぶことは、大きな変化を伴う非常に困難なことです。それは、街がバリアフリーであるか、障がい者に対するどのようなサポートがあるか、留学生がその対象となるか、という点に関して、たくさんのチャレンジが必要だからです。

京都に住むことは、外国で「障がい」と「バリアフリー」が何を意味するかにおいて、私に新しい境地を教えてくださいました。私はそれらが価値と学びのある経験だと感じています。

私は道に迷うことや未知のことを楽しんでいます。なぜなら

I wanted to make the most out of my time as a college student, which is why I decided to study abroad in Kyoto. Kyoto is a special city, a space of modernity and tradition blending together reflected in the cityscape and people living in the city, thus allowing myself to be immerse in Japanese culture. Studying at Doshisha and living in Kyoto has provided a challenging and rewarding experience to grow as a person. As a student with a disability, it can feel especially daunting to take the leap to study and live in a new country because there are many challenges to consider in regards to accessibility and support. Living in Kyoto has brought a new level of perspective in regards to what disability and accessibility means in different countries. As a result, I have found it to be a rewarding learning experience. I enjoy getting lost in the city and the unfamiliar because they have led to valuable relationships with people, experiences, and memories. I've been able to conduct field work on the restoration of kyo-machiya for my research, take weekly shamisen lessons, and pottery lessons. On the weekends, my friends and I go to cafes and eat our way through the city. Even with challenges along the way, there have always been helpful teachers and friends at Doshisha that have reached out a helping hand. One of the sensei's formed a *Rainy Day* group to help during the rainy season to get to school and back home. Before I used to push myself in the rain, but now I've met many new students through the group who have helped me with my mobility challenges. I encourage other students with disabilities to take the leap to study abroad.

SARAH SHIORI MAHONEY

それらが、京都の人々とのつながり、大切な思い出や経験になるからです。

私は「京町家の修復」の研究のためにフィールドワークを行い、さらに毎週、三味線のお稽古や陶芸教室にも通っています。週末には、友達と一緒にカフェや京都のおいしいものを食べに出かけています。学業以外の様々な挑戦の過程でさえ、同志社の先生方や友達は私に支援の手を差し伸べてくれました。

ある先生は、電動車椅子を使えない梅雨の時期の私の通学を助けるために、「雨の日クラブ」というグループをつくってくれました。それまでは雨の中、自分一人で車椅子を押して通学しなければなりませんでした。今はそのグループを通して、私の新しいチャレンジを助けてくれるたくさんの学生に出会うことができました。

私は、障がいのある他の学生にも、ぜひ海外で学ぶことを勧めます。

サラ シオリ マホニー

INTERVIEW 同志社人 訪問



国際交流基金日米センター所長

茶野 純一さんに聞く

今回の同志社人

茶野 純一 さん

【1980年 文学部社会学科 卒業】

ちやの・じゅんいち 滋賀県出身。ペンシルベニア大学大学院修士課程修了。朝日新聞外報部記者の伯父の影響で、小学生の頃から海外への関心を抱く。大学在学中に、キャンパス近くの京都アメリカンセンターでの読書や、招聘外国人研究者の講演等に接し、具体的な就職イメージを描く。1982年、国際交流基金に入社。タイのバンコク駐在、日米センター事務局長、日本研究・知的交流部長、ジョンズ・ホプキンス大学客員研究員、ニューヨーク日本文化センター所長等を歴任、2014年より国際交流基金日米センター所長(第7代)を務める。日米文化交流会議(CULCON)日本側委員。多忙の中、休日は趣味のサックス練習で過ごす。

今回のインタビュアー

長岡 幸佑 さん

【グローバル地域文化学部 3年次生】

ながおか・こうすけ 愛媛県出身。アジア・太平洋コースに所属。グローバル地域文化学部を選択したのも、国際的な問題に興味・関心が強かったことが理由。卒業後は語学力を生かし、国際的に活躍できる仕事に就きたいと考えている。

国際文化交流の第一線で、長年にわたり重責を担う、茶野さん。あくまで外交政策に沿った、政府の文化交流専門機関として国益を念頭に置く、その使命や、仕事における幸福感など日米文化交流を担う司令塔の素顔に迫りました。

外交戦略の一環としての 国際文化交流を実施

長岡 日米センターの理念や目的、具体的な業務についてご説明いただけますか。

茶野 ごく簡単に述べるなら、まず、国際交流基金の対米専門部署として日米関係の緊密化を図るという、外交上の大きな狙いがあります。ブルッキングス研究所など、米国のシンクタンクを相手に知的交流事業を実施していますが、500億円の政府資金で運営される公的組織ですから、国益が大前提。国際交流基金全体としてみれば、主な業務は、海外と

の文化芸術交流、海外における日本語教育の促進、そして海外日本研究の支援や知的交流促進という三つに集約されます。全ての事業が、外務省や在外公館等と緊密に連携し、外交政策として実施され、評価されます。

その具体的業務は、多種多様で幅広いですね。例えば、80年代に駐在したタイでは、コンサートやイベントの企画運営など、プロモーターやプロデューサーのような仕事にも携わりました。国王ご生誕60年記念の年に、日・タイ共同のオペラ『夕鶴』を上演したり、日本のジャズを紹介したりと。

長岡 そうした芸術交流や、草の根交



やすい環境や留学のチャンスなどが広がっています。それを活用しないのは、非常にもったいない。積極的に情報を集め、できれば早いうちに実行することです。

最後に、読書すること。そして、情報については、日本のものだけではなく、外国メディアの情報も参照すること。ざっと挙げればこんなところでしょうか(笑)。

長岡 一生を通じて学び続ける姿勢が大事なんですね。

茶野 先ほどの外務省幹部の友人の例ではありませんが、第一線で活躍している人たちに共通していることで、何も特別なことではないのです。自らを知的に高めること、磨き続けることは、必ず喜びや報いをもたらすものでもあります。先輩として皆さんの社会での活躍を大いに期待しています。

インタビューを終えて

一生学び続ける姿勢や、国際文化交流の奥深さなど 今後の進路を含め、立ち止まって考える貴重な体験になりました

インタビューに臨むまでは、草の根レベルでの交流が、どのようにして政策へとつながるのか、どのように国益と絡むのかが疑問でした。お話を伺って、「違いを知ること、お互いの違いを認め合うことから全てが始まる」という言葉に感銘を受けました。国益相互のぶつかり合いも、結局のところ人と人との交流から生じる、ということが垣間見え、最前線の実務家の仕事とそのやりがいに触れられたのは、とても貴重な体験です。また、一生学び続ける姿勢に強く刺激されましたし、国際交流基金のような存在を知り、政府・公的機関の情報をいろいろ収集してみようと思っています。文化交流の第一線で活躍されている先輩に特別講義を受けたという感じで、知と外交についての「学びの時間」となりました。



インタビューー
長岡 幸佑 さん

【グローバル地域文化学部 3年次生】

長岡 お仕事の重要性は理解できる気がありますが、茶野さん個人にとっての達成感や充足感は、どの辺りにありますか。

茶野 先にも触れましたが、日本にとって米国との同盟関係は、まさに死活的な利益が絡んでいます。その中で、日米の相互理解を進め、関係を緊密化するプロセスに、実務家の立場で参画できるということ自体、この仕事の大きな魅力ですし、個人的な幸福感の源泉もそこにあります。

当事者なので少し言いにくいのですが、もしこの日米センターが設立されていなかったら、1990年代初めの「同盟漂流」期以降、今日の日本が直面する外交環境は、さらに厳しいものになっていたであろうと想像できます。

長岡 今後のお仕事のビジョンや展望についてお聞かせください。

茶野 大統領選挙後の新政権の外交方針や陣容を注視するのは当然ですが、急務と考えるのは、人的交流の一環として、日本の若手研究者を米国シンクタンクに派遣するなど、アメリカと戦略的に共通言語で語り合える人材の育成です。特に日本側の研究者が、現在世代交代期に入っているという認識があるからです。

リアリズムをよりどころに、 常に最善の解を求める「癖」を

長岡 後輩の在学生に、学生の今だからできること、準備しておくべきことなど、助言をいただけますか。

茶野 まず、自分の可能性を狭めるようなネガティブシンキングに陥らないこと。世界と日本、「外」と「自己」との関係を常に意識し、リアリズムをよりどころとして、可能な選択肢の中から常にベストの解決策を求める「癖」を身につけること。加えて、語学に親しむこと。英語は必須として、一生ブラッシュアップを継続する心構えで。キンドルやポッドキャスト、オーディブルなど、楽しみながら学べる教材はいくらでもあります。

また、強調したいのが、留学のチャンスは迷わずつかむこと。私の在学当時と比較すると、今は圧倒的に勉強し

シミュレーションにより、 変化し続ける「次」を読む

長岡 仕事を通じて学ばれたこと、信条などを教えていただけますか。

茶野 そうですね。第一に国際情勢などを見る時、個々の事象にとらわれ過ぎないことです。状況や環境は常に連続変化しており、決して固定的ではありません。そのため、できる限り多くの知識と情報を得て、的確な状況の把握・認識と将来予測、文脈的シミュレーションを行える能力を養わなければなりません。

また公共政策とは、つまるところ、「目的」と「手法」の問題に還元されます。ジレンマや本末転倒な事態に陥りそうな時は、「手段の整合性のみにとらわれず、本来目的を考える」とするのが実務家の正しい姿なのだと思います。

長岡 なんだか、ささいなミスも許されないような緊迫した毎日ですね。

茶野 結構ありますよ、お恥ずかしい失敗も。10年ほど前、アジア某国で開催された財閥関係者の会議に出張しようとした時の話ですが、パスポートの有効期限がその国の入国要件に2日足りないことに気づき、結局渡航をキャンセルしました。成田での搭乗直前にわかったのです。会議に穴を開け、関係者に多大な迷惑をかけてしまいました。もちろん、これ以降はパスポートを含め、入国要件の確認は慎重を期して行うようにしています(笑)。

そんな失敗もあるから、逆に日々、能力をブラッシュアップする努力も欠かせないですね。

仕事仲間の友人に、極めて英語に堪能で、議論にもスキのない外務官僚がいます。頭脳明晰で、とても謙虚な帰国子女なのですが、彼は外務省の幹部になった今でも、毎日単語カードを作成・更新して、不断に覚える努力を続けています。

私自身も、自戒を込めつつ、彼と同様の姿勢を保ち、また、50半ばを超えてからヘブライ語を学び始めました。趣味として学ぶと同時に、ユダヤ系アメリカ人世界へのアプローチという意味で、業務にも直結します。

知、アイデア、文化、政策—日米の紐帯と架け橋—

流が、どのように政策と連動し、国益につながるのでしょうか。

茶野 まず人的理解と交流の基盤は、将来にわたり友好な関係を維持・強化する上で、欠かせない要素です。互いの違いを認め合うことは、相互理解の第一歩でもあります。また、優秀な研究者同士が意見を交わし、共同研究を行う知の交流は、政策課題と直結することができます。これらの複合効果が一国の世論形成に影響を及ぼすことも少なくありません。

長岡 国際的な仕事に就こうと思われたのは、小学4、5年生の頃と伺いました。余程強い、一貫した思いをお持ちだったのでしょうか。

茶野 海軍兵学校を経て朝日新聞の外報部記者となり、アジア各国に駐在した伯父の影響です。漠とした「海外」への思いは、その頃からありました。中高時代も、そうした思いを育んでいたのは確かです。

ただ、中高時代はサッカーに打ち込んでいてね。高校ではサッカー部のキャプテンとして、受験そっちのけで、3年生の12月まで部活動をしていたほどです(笑)。

長岡 京都という土地で学生時代を過ごされたことや、同志社でのご経験も進路に影響していますか。

茶野 大いにあると思います。京都は

日本を代表する国際的な文化都市。頻繁に国際会議やシンポジウムの舞台となります。実は先週も、ブッシュ政権時代の要人を案内して、京都での会議に出席してきたところでした。学生の頃は、国際文化会館や米国国際交流庁が開催する、外国人研究者の講演会に足繁く通いましたね。

当時、今出川キャンパスのすぐ近くにあったアメリカンセンターには、静かな読書スペースがあり、最新の図書資料や視聴覚資料が備えられていました。そこで私は『ニューヨーカー』を始めとする雑誌の最新号や、スーザン・ソントグの評論などを原語で読み、また、ギル・エヴァンスやマイルス・デイヴィスなど大好きなジャズの演奏ビデオを視聴したりして、アメリカ文化を満喫していました。

同志社大学のリベラルな環境では、柔軟な思考の基礎が築かれたかな。それから、アーモスト大学からの交換留学生との交流を通じ、米国のリベラルアーツカレッジのレベルの高さや豊かさを、早い時期に知り得たことは、大きかったと思います。

後に非常勤講師や客員教授も務めました。やはり同志社には母校としての特別な愛着がありますね。育ててもらったという強い意識を持っています。

My Job, My Life

私と「仕事」 第71回

学生時代からの夢を追い続け、多彩な分野で活躍する卒業生を訪ね、仕事に挑む熱い思い、今後の目標などをインタビュー。その姿が学生の皆さんの将来のキャリア・プランに役立てば幸いです。

小島 圭司さん

[2006年 経済学部卒業]
コクヨ株式会社
ファニチャー事業本部 事業戦略本部 販売マーケティング部
チャンネルマーケティング第1グループ

山田 麻莉子さん

[2011年 法学部政治学科卒業]
NPO法人
バーンロムサイジャパン

企画力が問われる、仕事空間の総合プロデュース お客様以上にお客様の働き方を考える、醍醐味がある

One day on the job



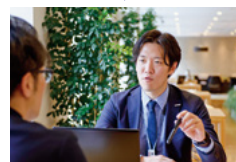
8:45
出社後、
集中できる場所で
メール確認。
今日のミーティングや
段取りを組み立て



10:00
プロジェクト進捗会議に
事務局サイドとして出席。
トータルな視点から
意見を出す



12:15
社員食堂での
ランチタイム。
リフレッシュと、
午後の英気を
補充するひととき



16:00
会議であがった課題を
営業担当と打ち合わせ、
一個一個詰めていく



17:00
販売パートナーに
活用してもらう販促物の
作成・確認

一般には、文具・ステーショナリーが広く認知されているコクヨですが、事業構成としては、ステーショナリー事業・ファニチャー事業・通販事業の3本柱で成り立っており、私は入社以来一貫して法人顧客相手のファニチャー事業に関わってきました。コクヨのファニチャー事業とは、働くための空間づくりです。いかに業務効率を上げ、独創的なアイデアが湧く空間をどう創出できるかをご提案します。個々の法人顧客の特性やニーズに即した提案を、課題解決型で構築します。

中には、高度な提案を要求されることも。ある時、海外に広く展開する機器メーカー様から、研究開発部門のオフィス構築について検討依頼がありました。研究者同士が自由にアイデアや課題を交換し、気づきやブレイクスルーを生むための空間。先方のチームの顔触れも国際色豊か。“知の融合”などいくつかのキーワードを提示いただきながら、ワークスタイルコンセプト創出と、空間づくりをお手伝いするという、非常に困難なものでした。2年がかりでやっと受注に至ったのは、達成感とともに、感慨深い思い出です。

現在はコクヨマーケティングに出向

し、販売戦略から企画立案、施策実行まで、チャンネルを対象としたマーケティングを担当しています。ターゲットとする市場を明確にし、どれくらいのシェアを目指すために、どんな商材で、どんなストーリーを描き、どこと協力して売っていくのか。いわば販売の5W1Hを企画・展開していく業務です。エリアそれぞれで特性や事情が異なるため、より詳細で具体的な戦略が求められます。

同志社大学では広告研究会に所属し、イベント企画やフリーペーパーの編集などをしていました。少し背伸びをして、社会人の真似事がしなかったのでしょうか。

ただ、学生の頃は、好きな仲間や気の合う人間としか一緒に行動しないものの。社会に出れば、自分と真逆のタイプの人とも協力し、業務を遂行することも求められます。今では、多様な思考や価値観の人間が、同じ目的に向かって力を合わせ、課題を一步一步クリアしていくからこそ、大きなやりがいや喜びが生まれる、そんな気がします。

在学生の皆さんには、自分から壁をつくりさえしなければ、いろいろな可能性が発見できるんだということを、様々な経験を通じて体感してほしいですね。

自分が「本当にやりたいこと」を信じて歩むなら、 つまずきでさえも、転機への大きなステップになる

バーンロムサイジャパンは、エイズで両親を亡くし、自らもHIV感染した子どもたちの生活施設として、1999年にタイ北部、チェンマイに設立されたバーンロムサイを支援する団体です。

現在ではHIVに感染している子どもたち、また様々な事情により親と暮らすことが困難な子どもたち、合わせて30人が元気に暮らしています。

日本・チェンマイでのオリジナルグッズの販売や、チェンマイでのゲストハウス運営などから出た利益を子どもたちの生活支援に充てています。

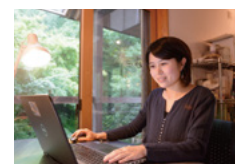
私がバーンロムサイジャパンを知ったきっかけは、一本の映画でした。小林聡美さん主演の『プール』という邦画で、舞台となっていた宿泊施設が、ホシハナヴィレッジという、バーンロムサイがチェンマイで運営している施設だったのです。卒業後、一般企業で数年勤めましたが、慌ただしく業務に追われる日々疑問を禁じ得ず、会社を辞めることが決まっていたある日のこと。たまたまバーンロムサイジャパンのホームページにアクセスしたところ、チェンマイでの求人募集が出ていたのです。問い合わせしてみたら、即スカイプ面接。さらに面接担当者の第一声が、「いつからこちらに来られますか？」。

まさにトントン拍子で、気づけば現地スタッフになっていました(笑)。今思えば、何かに導かれたような出会いだったのかな、と。現在はバーンロムサイジャパンで、洋服やグッズの企画製造販売を担当し、百貨店での企画展打ち合わせなど、企画から販売立ち会いまで、全般に関わっています。

学生生活を振り返ると、サークルも寮生活も、海外との接点が多くありました。サークルは観光客を相手に、京都を案内するガイド。2年間を過ごした寮も、今は留学生専用の施設となっている「リチャーズハウス」で、20人位ずつ日本人学生と留学生が暮らす、恵まれた環境でした。9カ月間の米国カリフォルニア留学も大きな経験です。外国人として海外に住むことは、想像できないことだらけ。国籍や人種を問わず、頑張っている人にはとことんエールを送る環境を、肌で感じる事ができたのは、大きな財産となりました。

在学生の皆さんには、「世間や人目を気にせず、やりたいことをやってみて」と言いたいですね。たとえ失敗したとしても、自分が信じた道を歩む中でつまずきの方が、得るものも格段に大きいと思うからです。

One day on the job



10:00
事務所にて。
取引先からのメールを
チェックし、
一日の予定を確認



12:30
キッチンで簡単な料理をつくり、
スタッフと情報共有しながら
和気あいあいのランチ



14:00
企画展へ送る荷物の
発送準備



16:30
タイから届いた試作品を
スタッフとチェック。
改良点などを意見交換



17:30
翌日の百貨店担当者との
打ち合わせ用に、
サンプル商品をセレクト

応援に行こう! 体育会試合日程

- 【アーチェリー部】
- 10月8日(土)～10日(月・祝)
第29回全日本学生フィールドアーチェリー選手権大会
佐伯国際アーチェリーランド(広島県)
 - 10月23日(日) 第54回関西学生アーチェリー新人戦
服部緑地陸上競技場(大阪府)
 - 11月26日(土)・27日(日)
第21回関西学生アーチェリーインドア選手権大会 予選 大阪大学体育館(大阪府)
 - 12月3日(土)・4日(日)
第21回関西学生アーチェリーインドア選手権大会 決勝 大阪大学体育館(大阪府)
- 【アメリカンフットボール部】
- 10月8日(土) 2016関西学生アメリカンフットボールリーグ
エキスポフラッシュフィールド(大阪府) 12:00～ 対戦相手:京都大学
 - 10月23日(日) 2016関西学生アメリカンフットボールリーグ
王子スタジアム(兵庫県) 12:00～ 対戦相手:神戸大学
 - 11月3日(木・祝) 2016関西学生アメリカンフットボールリーグ
宝が池球技場(京都府) 14:00～ 対戦相手:龍谷大学
 - 11月19日(土) 2016関西学生アメリカンフットボールリーグ
万博記念競技場(大阪府) 11:30～ 対戦相手:甲南大学
- 【バドミントン部】
- 10月14日(金)～20日(木)
秩父宮・秩父宮妃杯争奪 第67回全日本学生バドミントン選手権大会
千葉ポートアリーナ(千葉県)
 - 11月8日(火)～10日(木)・17日(木)・18日(金) 関西学生バドミントン新人戦
8日(火)・9日(水)大阪府中央体育館・10日(木)舞洲アリーナ(大阪府)・
17日(木)・18日(金)千島体育館(大阪府)
- 【ボードセーリング部】
- 11月8日(火)～10日(木)
全日本学生ボードセーリング選手権(インカレ個人) 沖縄 オクマ
 - 12月3日(土)・4日(日) 関西選手権第3戦 琵琶湖佐波江(滋賀県)
- 【フェンシング部】
- 10月16日(日)～20日(木)
全日本学生個人選手権大会兼全日本大学対抗選手権大会 大山崎体育館(京都府)
 - 10月19日(水)～23日(日) 関西学生フェンシング選手権大会
大山崎体育館(京都府)
- 【ハンドボール部男子】
- 10月2日(日) 平成28年度関西ハンドボール秋季リーグ
大阪経済大学 11:25～ 対戦相手:天理大学
 - 10月16日(日) 平成28年度関西ハンドボール秋季リーグ
関西大学 11:25～ 対戦相手:関西大学

- 【ハンドボール部女子】
- 10月2日(日) 平成28年度関西ハンドボール秋季リーグ
大阪経済大学 9:45～ 対戦相手:武庫川女子大学
 - 10月15日(土) 平成28年度関西ハンドボール秋季リーグ
関西福祉科学大学 13:45～ 対戦相手:天理大学
- 【空手道部】
- 10月9日(日) 第59回全関西大学空手道選手権大会 会場未定 9:00～
 - 11月19日(土)・20日(日)
第60回全日本大学空手道選手権大会 日本武道館(東京都) 9:00～
- 【日本拳法部】
- 10月2日(日) 第42回日本拳法龍峰杯優勝大会
吹田市立武道館 洗心館(大阪府) 10:00～
 - 10月23日(日) 第32回全日本学生拳法個人(男・女)選手権大会
名古屋市天白スポーツセンター(愛知県) 12:30～
 - 11月13日(日) 第27回洪游杯・日本拳法ジャパンオープン
阿倍野スポーツセンター(大阪府) 11:00～
 - 11月27日(日) 第61回全日本学生拳法選手権大会
大阪府立体育館(大阪府) 9:30～
 - 12月18日(日) 第22回日本拳法白虎会優勝大会
パナソニックアリーナ(大阪府) 10:00～
- 【ラクロス部男子】
- 10月8日(土) 関西学生ラクロスリーグ戦第5節
会場・時間未定 対戦相手:関西学院大学
 - 10月16日(日) 関西学生ラクロスリーグ戦第6節
大阪大学豊中キャンパス(大阪府) 10:00～ 対戦相手:大阪大学
- 【ラグビー部】
- 関西大学Aリーグ
- 10月2日(日) 花園I(大阪府) 14:00～ 対戦相手:摂南大学
 - 10月16日(日) 宝が池(京都府) 14:00～ 対戦相手:近畿大学
 - 10月23日(日) 花園I(大阪府) 14:00～ 対戦相手:関西学院大学
 - 11月12日(土) 宝が池(京都府) 14:00～ 対戦相手:関西大学
 - 11月27日(日) 神戸ユニバー(兵庫県) 14:00～ 対戦相手:立命館大学
 - 12月3日(土) 西京極(京都府) 14:00～ 対戦相手:天理大学
- 【剣道部】
- 10月9日(日) 第64回全日本学生剣道優勝大会
エディオンアリーナ大阪(大阪府) 9:00～
 - 11月13日(日) 第35回全日本女子学生剣道優勝大会
春日井市総合体育館(愛知県) 9:00～
- 【トリアスロン部】
- 10月9日(日) 第22回日本トリアスロン選手権大会
東京都お台場海浜公園周辺(東京都)
 - 10月16日(日) 2016日本学生スプリントトリアスロン選手権
兼トリアスロンチームT.T.選手権大会 渡良瀬遊水地

♪観に行こう聴きに行こう♪ ―学生団体10月の活動予定―

- 【学内】
- 10月2日(日)
ハンドベル・クワイア 「同志社系列合同 チャリティーコンサート」
今出川 寒梅館ハーディーホール 14:00～(13:30開場) 500円
 - 10月4日(火)～15日(土)
クラマ画会 「後期展『みんなの秋、だれかの秋』」
今出川 ハリス理化学館同志社ギャラリー
10:00～17:00(最終入館16:30) 無料
 - 10月5日(水) 軽音楽部 「1・2回生コンサート本番」
今出川 寒梅館ハーディーホール 15:00～17:30(14:30開場) 無料
 - 10月12日(水) Soul2Soul 「秋多目ステージ発表」
京田辺 ハローホール(多目的ホール) 17:00～19:00 無料
 - 10月15日(土)・16日(日) 書道部 「同志社大学書道部二回生展”煌」」
今出川 寒梅館ギャラリー
15日(土)10:00～17:00 無料 16日(日)10:00～16:00 無料
 - 10月16日(日) 法学研究会 「常設法律相談会」
今出川 寒梅館2A・2B・2C 13:00～16:30 無料

- 10月22日(土) Folk Song Society(F.S.S.) 「TRF」
京田辺 ハローホール(多目的ホール) 10:00～20:00(9:00開場) 無料
- 10月23日(日) E.S.S. 「感動戦(関西大学とのスピーチ大会)」
京田辺 新別館 第10会議室
11:30～18:00(11:00開場) 無料
- 10月24日(月)～28日(金) 卒業アルバム委員会
「卒業アルバム個人・ゼミ・サークル撮影会」
京田辺 多目的ホールラウンジ 10:30～18:00 無料
- 10月26日(水) 同志社大学学生保健部会 「献血」
今出川 明徳館西側 9:00～17:00
- 10月27日(木) 同志社大学学生保健部会 「献血」
京田辺 ローム記念館前良心碑北側 9:00～17:00

- 【学外】
- 10月30日(日) 交響楽団 「第91回定期演奏会」
ロームシアター京都 15:30～(14:30開場)
一般1,000円 シニア800円 学生500円

新入生の学費について

2017年度入学生の学費については、5月19日開催の大学評議会ならびに5月28日開催の法人理事会において決定されました。詳細は下記の大学ホームページをご覧ください。

なお、在学生の学費については、すでに入学時に明示しているとおりであり変更はありません。

- ・学部
http://www.doshisha.ac.jp/admissions_undergrad/info/procedure/procedure.html
- ・大学院
http://www.doshisha.ac.jp/admissions_graduate/admission_procedure/procedure.html

同志社創立 141 周年記念リユニオン 同志社大学ホームカミングデー 2016

ホームカミングデーならびにリユニオンを下記の通り開催いたします。卒業生の皆さまに母校で過ごしていただくとともに、思い出のあるキャンパスで、懐かしい友人や教員と旧交を温めながら、同志社大学の「今」を感じていただく1日にしたいと考えております。ぜひ、お越しください。

【日時】11月13日(日) 10:00～16:30 【会場】今出川校地
＊開会式＊

【時間】10:00～(終了後、大集合写真撮影) 【会場】栄光館(同志社女子大学構内)
学長講演、交流レセプション、野点などたくさんのプログラムをご用意しております。詳しくはホームカミングデーホームページ、Facebookをご覧ください。

【お問い合わせ先】校友・父母課 TEL：075-251-3009
E-mail：ji-koyu@mail.doshisha.ac.jp

同志社クローバー祭(同志社京田辺祭)

11月5日・6日の2日間、同志社クローバー祭(同志社京田辺祭)を開催します。学生と地域の皆さんが広く交流し一体となって盛り上がる、活気溢れるお祭を目指しています。期間中は、プロのアーティストによる演奏(無料)の他、模擬店、学生による企画やアカデミック体験コーナー、東日本大震災復興支援として、福島県との親交企画なども開催いたします。今年度のクローバー祭のテーマは「感謝無限大!!」です。京田辺キャンパスは今年で開校30周年を迎えます。30周年の感謝の気持ちをこめた企画や装飾で祭を盛り上げていきますので、ぜひ、京田辺キャンパスにお越しください。

【日程】11月5日(土)・6日(日) 【場所】京田辺キャンパス

【お問い合わせ先】同志社クローバー祭実行スタッフ TEL：0774-65-7832

第 141 回 同志社 EVE

同志社創立141周年を記念して、今年も今出川校地を中心に同志社EVEを開催します。日頃の学生生活・クラブ活動等で培ってきた技術をアピールする場として、学生・教職員・卒業生・地域住民の一体感を生み出す場として講演会や演劇、演奏会等を行い、今出川キャンパス全体が生き生きとした笑顔と活気に包まれます。

【日程】EVE期間 11月1日(火)～28日(月)
出店期間 11月26日(土)～28日(月)

【場所】今出川校地

【お問い合わせ先】第141回全学EVE実行委員会 TEL：075-251-4452

bふらっとプログラム

【会場】京田辺キャンパス ローム記念館内 劇場空間 【料金】無料

- 10月6日(木) アロハフェスティバル「Kahealani × Meahula Nohealani」
- 10月13日(木) コマ撮り人形アニメーション「秦俊子 短編アニメ上映」
- 12月2日(金) FLAT(京田辺)×CLAP(今出川)「内藤日和 短編アニメ上映」

※内容・時間は決まり次第HP等でお知らせいたします。

【お問い合わせ先】京田辺校地学生支援課 TEL：0774-65-7413

各詳細は、学内掲示板やHPなどでご確認ください。

WOT(ワット)= “What’ s On Thursdays!”



「木曜日には何かがある!」を合言葉に、開講期間中の毎週木曜日、映画上映を中心に多彩なイベントを開催します。

【会場】寒梅館ハーディーホール

【料金】本学学生・教職員はすべて無料

- 10月6日(木) 《EXP2016牧野貴&ジム・オルーク 新作ライブ上映》
開場18:30/開演19:00
作品:牧野貴(映像)&ジム・オルーク(音楽/ライブ演奏)による新作(2016年/30分予定)、『In the Spectacle』(2005年/23分)オリジナルバージョン
＊上映前に牧野貴&ジム・オルークによる舞台挨拶あり
料金(当日のみ):一般2,000円、Hardience会員・学生1,700円
- 10月13日(木) 《『映画作家黒木和雄 非戦と自由への想い』関西先行有料上映》
開場14:00/開演14:30
『映画作家黒木和雄 非戦と自由への想い』(2016年/日本/91分/監督:後藤幸一)
＊上映前に後藤監督、ゲストによる舞台挨拶あり
料金:一般1,700円、学生1,400円、シニア1,100円、会員(Hardience、シネ・ヌーヴォ)1,000円
- 10月20日(木) 映画上映
『家族はつらいよ』(2016年/日本/108分/監督:山田洋次)
10:45/13:30/16:00/18:30
料金:一般1,300円、Hardience会員・学生・前売1,100円
- 10月27日(木) 《ブレ・さがの映像祭》
開場18:00/開演18:30
過去作品の上映と、ゲスト&学生によるトーク
入場無料

【お問い合わせ先】
今出川校地学生支援課 TEL：075-251-3270

※内容は都合により変更となる場合があります。詳細はお問い合わせください。
※11月以降も毎週木曜日、映画上映などの催しを予定しています。
詳細はお問い合わせください。

クローバーシアター



開講期間中の毎週火曜日、寒梅館のミニシアター・クローバーホールでは、映画史に残る名作の上映を中心に様々なイベントを開催します。

【会場】寒梅館クローバーホール

【料金】本学学生・教職員はすべて無料

- 10月4日(火) 《SFxの夜明け》
17:30『ロスト・ワールド』(1925年/アメリカ/63分/特撮:ウィリス・H・オブライエン)
18:45『キング・コング』(1933年/アメリカ/100分/特撮:ウィリス・H・オブライエン)
入場無料
- 10月11日(火)
《オールピスト京都&CTコラボレーション Zing Zing Asia アジア・オープン・コール2016》
開場18:30/開演19:00
アジア最先端の映像作品上映とゲスト(北小路隆志氏)によるトーク
500円均一
- 10月18日(火) 《生(き)の芸術①》
シリーズ「日本のアウトサイダーアート」(2008-9年/日本/監督:代島治彦)より
17:30「人のカタチ」(2008年/59分/出演:木幡正雄、久保田洋子、玉井ケント)
18:40「想像の王国」(2008年/50分/出演:上田志保、澤田真一、西川智之)
19:40「孤独のカタチ」(2009年/46分/出演:臼井紀和、名渡山修、松尾吉人)
入場無料
- 10月25日(火) 《生(き)の芸術②》
シリーズ「日本のアウトサイダーアート」(2008-9年/日本/監督:代島治彦)より
17:30「文字という快楽」(2008年/65分/出演:喜舎場盛也、富塚純光、戸來貴規)
18:45『都市の夢』(2008年/42分/出演:辻勇二、本岡秀則)
19:40『変身願望』(2009年/44分/出演:工藤薫、下田賢宗、宮間英次郎)
入場無料

【お問い合わせ先】
今出川校地学生支援課 TEL：075-251-3270

※内容は都合により変更となる場合があります。詳細はお問い合わせください。
※11月以降も毎週火曜日、映画上映などの催しを予定しています。
詳細はお問い合わせください。